

無断転載禁

土木技術者女性の会

リ  
人  
輸  
冊  
車

2009 年 夏号

# 土木技術者女性の会

## <会の目的>

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい。
2. 土木界で働く女性技術者同士の知識の向上。
3. 女性にとって魅力ある、働きやすい土木界の環境作り。
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上。
5. 土木技術者をめざす女性へのアドバイス。

## <倫理規程>

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規程を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。

## 目次

### 巻頭言

言葉の力と限界（土木技術者女性の会会長 桑野玲子）	1
---------------------------	---

第28回土木技術者女性の会総会	2
第28回土木技術者女性の会総会 議事要旨（中部地区 中島綾子）	3
見学会「インタープリターと歩く森のツアー」報告（中部地区 所靖子）	6
講演会報告（中部地区 中西利美）	8
見学会&懇親会&総会に参加して（北海道地区 田原さゆり）	11
また会える喜び（関東地区 笹尾圭哉子）	12
初めて総会へ参加して（関西地区 納田陽子）	13
土木技術者女性の会に参加して（ゲスト 岩瀬三枝）	14

### 地区活動レポート

北海道地区現場見学会（北海道地区 南 朋恵）	16
東京ウィメンズプラザ平成20年度オープンプラザ事業「土木の仕事の魅力と私たちの働き方」報告（関東地区 橋本麻未）	18
「名古屋港内見学会」のご報告（中部地区 小畑敏子）	20
「インタープリターと歩く森のツアー」参加レポート（中部地区 平永佐知子）	21
琵琶湖疏水見学会報告～土木遺産をたずねて（関西地区 牛山育子）	22
琵琶湖疏水見学会報告 番外編～ヴォーリズ建築のエイジング効果～「東華菜館」（関西地区 牛山育子）	27
関西地区 活動報告'09.2.15（関西地区 村上育子）	35

### メールニュースより

「私の好きな時間」（関西地区 三好葉子）	44
「私の好きな時間」（関東地区 龍 尊子）	45
「空を見上げること」（関東地区 島村亜紀子）	46
「私の好きな場所」（関東地区 畠中千野）	48

### 新役員紹介

会長 桑野玲子	10
副会長 島村亜紀子	34
就職支援WGリーダー 橋本麻未	47
坑内労働規制緩和WGリーダー 須田久美子	49
企画WGリーダー 牛山育子	43
事務局スタッフ 福山貴子	19
編集担当・北海道地区世話役 佐藤厚子	49

### WGより

ホームページ運用WG：リーダー 岩本理恵	50
広報企画WG：リーダー 須田久美子	52

### 事務局便り

事務局関係メンバーの紹介	55
事務局からのお知らせ	56

所属、役職等は原稿執筆時のもの

次期総会案内	58
--------	----

言葉の力と限界

土木技術者女性の会会長 桑野玲子

桜は、枝に緑の葉をつける前に、薄桃色の花を咲かせ、そして散ってしまうからこそ美しいと思う。ところが、アイルランド人の友人に桜のそのはかない美しさを力説したら、緑の葉と一緒にない花なんて想像しただけでも魅力がないと言う。彼らにとっては、植物イコール緑で、花は緑と一緒にだからこそ初めて真価を発揮するものらしい。だいたい、季節感を言葉で説明するのは至難である。これは理屈で理解する性質のものではなく、子供の頃から日々全身で感じているものだからだろう。

花が常に葉と一緒にあるべきか否かはたわいもないことだが、思いもよらないことで深刻な誤解を生じている場合もある。ある留学生在が日本に来たばかりの頃、指導教員が彼に「私のことを貴方の父親だと思って何でも相談してくれ」と歓迎した。これは“研究以外のことでも困ったことがあったら親身に相談にのる”という趣旨の発言に私には思える。しかしその留学生は、“私には絶対服従せよ”という意味に解釈した。その留学生にとって、父親の威厳は絶対で、意見には無条件に従わなくてはならないからだそう。もとより教員は父親の例えのもとに留学生を威嚇するつもりなど毛頭なかったわけだが、双方の習慣や意識の違いが誤解を生んだのである。この場合、偶然私は留学生の思い違いに気づく機会があり、誤解を解いたつもりだが、言葉が意図したように伝わっていないケースは意外と多いのではないだろうか。外国の友人達とざっくばらんに話をする時、ある1つの事実や発言に対して、実は様々な解釈の違いが生じていることに気づく。受け止め方や感じ方に相違があるのは当然の事であるが、発言者の真意が正確に理解されていないがために無用のストレスがおこるのはできるだけ避けたい。

言葉が通じ、しかも文化の背景が似ていても、コミュニケーションは時として難しい。以下はロンドンで目撃したことである。犬猿の仲の2人が研究室で顔を合わせた。おきまりの“**How are you?**”の挨拶に、風邪で参っているもう一人が、“**I'm dying with cold**”と答えた。それに対して意外なことに、“**Good!! that's very good!**”、ただでさえ仲が悪いのにこれにはさすがに気まずい雰囲気の流れ、双方慥然としたままその場を後にした。実は、“**Diamond and gold**”と聞こえ、「最高の気分」と言いたいと勘違いしたらしい。2人の仲はその後（別にそのせいだけではないが）修復不可能となった。残念である。

言葉の持つ力は偉大だと思う。それによって意志を伝達し、癒され救われる事も多い。逆に言葉がいないことも、無力な場合もある。ちょうどいい具合に言葉を操るのは難しい。



## 第28回土木技術者女性の会 総会

－ 開催日時 －

2009 年6 月26 日(金)13:30～27 日(土)12:00

－ 見学会 －

愛・地球博記念公園 インタープリターと歩くもりのツアー

－ セミナー －

「愛知万博の開催とのその後について」

～愛知万博の理念と成果の継承～

－ 懇親会 －

まつり錦店

－ 総会 －

中日本建設コンサルタント(株)



## 第28回土木技術者女性の会総会 議事要旨

中部地区 中島綾子

2009年6月27日

中日本建設コンサルタント(株)

### 1 開会 (小畑)

総会出席者 26名、委任状 44名、計 70名  
会員 144名中 1/10以上により総会成立

### 2 会長挨拶 (佐藤厚)

### 3 平成20年度活動報告

#### 3-1. 役員会報告 (島村)

##### (1) 第27回総会後役員会

日時：2008年6月28日、出席者：14名

##### (2) 第28回総会前役員会

日時：2009年4月18日、出席者：16名

#### 3-2. 事務局 活動報告 (佐藤亜)

##### (1) 第1回ミーティング

日時：2008年8月4日、出席者：6名

##### (2) 第2回ミーティング

日時：2009年4月7日、出席者：5名

##### (3) 会員動向 (6月10日現在)

① 会員数: 正会員144名、学生会員2名、計146名  
(北海道14名、関東91名、中部17名、関西22名)

② 新入会員: 正会員13名、学生会員2名、計15名  
(関東地区7名、中部地区3名、関西地区1名)

③ 退会会員: 学生会員2名 (学生期間終了)

④ 除名会員: 正会員3名 (関東2名、中部1名)

### 4. 会費について

#### ① 会費納入状況

平成20年度分未納者：31名

平成19年度を含めた未納者：8名

平成18年度を含めた未納者：4名 (除名)

#### ② 会費の郵便振替手続き 登録者数：43名

・ 会費の郵便振替手続きは全体の1/3程度。もう少し振替手続きを進めていきたい。

・ アカウント登録者は121名、残りの20名は輪を読んでいない。→地区活動等で登録を促して欲しい。

#### 3-3 H20年度 第27回総会 開催報告 (田原)

平成20年6月27日・28日 札幌市

見学会: 札幌駅前地下通路設置工、参加者: 15名

総会: かでる2・7、出席者: 21名

#### 3-4-1 北海道地区 活動報告 (田原)

##### (1) H20北海道地区総会

日時：2008年4月12日、参加者：5名

##### (2) 見学会

日時：2008年7月26日、参加者：4名

##### (3) 会計報告

#### 3-4-2 関東地区 活動報告 (北原)

##### (1) 女子学生との交流会及び講演会 (東京都共催)

日時：平成20年12月13日

参加者：71名 (学生27名、社会人44名)

##### (2) 新年会

日時：平成21年2月7日、参加者：9名

##### (3) 会計報告

#### 3-4-3 中部地区 活動報告 (小畑)

##### (1) 見学会 (日本技術士会主催)

日時：2008年8月29日

参加者：会員3名、日本技術士会37名、一般7名

##### (2) 新年会および打合せ

日時：2009年1月17日、参加者：会員3名、子供1名

##### (3) 見学会および総会下見・打合せ

日時：2009年3月7日

参加者：会員5名、子供3名、他1名

##### (4) 会計報告

#### 3-4-4 関西地区 活動報告 (三好)

##### (1) 総会報告会

日時：2008年9月5日、参加者：8名

##### (2) 見学会および懇親会

日時：2008年10月18日

参加者：関西地区7名、関東地区2名、他3名

##### (3) 勉強会

日時：2009年2月15日、参加者：6名

##### (4) 会計報告

#### 3-5. 「輪」編集・発行報告 (佐藤厚)

(1) 2008年総会特集号 (第47号) 2009.2.17発行

(2) 編集作業概要

#### 3-6. 「Civil Engineer への扉」販売報告 (須田)

(1) 平成20年度活動報告

(2) 役割分担

(3) 販売状況報告

販売総数：1999年版1冊、2006年版98冊

残部数：1999年版94冊、2006年版1,593冊

#### 3-7-1. 坑内労働規制緩和WG 活動報告 (所)

(1) 活動の目的

## (2)WGメンバー紹介

### (3)打合せ・会議等

- ①土工協へアンケート調査協力依頼
- ②坑内WG打ち合わせ
- ③アンケート調査結果(速報)を送信
- ④アンケート調査結果(速報)を総会にて別冊資料として会員に公開

### (4)検討内容

### (5)会計報告

## 3-7-2.ホームページ運用WG 活動報告 (岩本)

### (1)平成20年度活動報告

- ①コンテンツの見直し及び更新計画の検討
- ②トップページのリニューアル
- ③その他、日常的な更新作業

### (2)Gメンバー紹介

### (3)会計報告

## 3-7-3.広報企画WG 活動報告 (須田)

### (1)活動の目的

### (2)WGメンバー紹介

### (3)活動スケジュール

- ①2008年9月13日 打合せ、参加者：12名
- ②2008年4月から随時 大学生協販売の試運用

### (4)活動内容

- ①「Civil Engineer への扉」生協販売に関する各大学生協との交渉、試運用開始
- ②再構築シナリオの検討

### (5)今後の進め方

今後は、就職支援WGと企画WGの二つに分割

### (6)会計報告

## 3-8.平成20年度決算報告・監査報告 (山田・天野)

複式帳簿に移行中であるが、今期の報告は従来どおりの様式で報告

(参考資料として貸借対照表、損益計算書あり)

・関西地区のセミナー参加費については、

①10,000円の使い切り予算ではないが、②地区の会計には口出ししない③飲食には出費しないということに抵触しないため、認めている。セミナー参加費を会全体の費用として扱った方がいいのではないか等、意見があった。

・地区活動費の取り扱いについては、役員会にて再度話し合うこととした。

・赤字計上の予算立ては問題ないかという質問に対しては、営利団体と認められるかどうかにもよるが、単年度の赤字は問題としないと考えられるという回答があった(赤字計上でも5年先の投資という考え方もある)。

・また、公益法人の場合は預金を一定額しかもてないという話もあった。

・監査役より、鑑査の結果、決算報告に相違がないことを確認した旨の報告があった。

## 4-1.平成21年度活動方針(案) (佐藤厚)

### (1)総会の開催 (21年度は中部地区)

### (2)会誌『輪』の発行

### (3)地区中心の見学会、講習会、勉強会等の開催

### (4)部会活動の実施

#### ①坑内労働規制緩和WG

#### ②HP運用WG

#### ③企画WG

#### ④就職支援WG

### (5)活動に必要な役員会、打合せ等を行う。

## 4-2.平成21年度役員・会計監査案 (笹尾)

役員、会計監査 承認

## 4-3.役員会・事務局 活動計画 (笹尾)

### (1)役員会活動計画

#### ①第1回役員会 (総会后役員会)

#### ②第2回役員会 (総会前役員会) を実施

### (2)事務局活動計画

#### ①円滑に会の運営を実施するための活動

#### ②第30回記念総会開催のための活動

## 4-4-1.北海道地区 活動計画 (佐藤厚)

北海道地区世話役

### (1)H21北海道地区総会

日時：2009年4月11日、参加者：5名

議題：①20年度活動報告、②20年度会計報告、

③地区役員、④21年度活動計画

### (2)見学会 (春～秋)

### (3)勉強会 (秋)

子連れ可の宿泊勉強会を実施予定

## 4-4-2.関東地区 活動計画 (北原)

### (1)勉強会

#### ①平成21年7月25日(土)現場見学

#### ②平成21年10月2日・3日上高地・梓川ダムの保守管理現場見学

#### ③平成21年11月ワインカーヴ見学

### (2)女子学生との交流会 (平成21年12月5日(土)予定)

### (3)セミナーやシンポジウムの参加

#### ①平成21年6月20日～映画『点の記』鑑賞会

#### ②平成21年7月～8月の公開迎賓館の見学

### (4)新年会

## 4-4-3 中部地区 活動計画 (所)

### (1)総会の準備と打合せ

### (2)現場見学会 (平成21年秋予定)

### (3)新年会

- (4)地区活動の活性化
- (5)役員を紹介

#### 4-4-4 関西地区 活動計画（三好）

- (1)次年度の総会開催準備を中心とした活動
- (2)総会報告会（例年7～8月に実施）
- (3)見学会、イベント
- (4)忘年会または新年会

#### 4-5.「輪」編集計画（佐藤厚）

- (1)発行予定
  - ①夏号2009年総会（2009年8月発行予定）
  - ②冬号(2010年2月発行予定)
    - ・輪を配布して欲しいという意見があった。その一方で、紙でなくパソコンで見られた方が良くという意見もあるため、会員全体にアンケートを取る方向で話し合われた。予算については、1号当たり10万円であることや、事務局の負担についても合わせて考えることとする。

#### 4-6-1.坑内労働規制緩和WG 活動計画（須田）

- (1)活動の目的
- (2)メンバー 7名
- (3)活動内容
- (4)活動費用
  - ・昨年度の土工協のアンケート結果をもって土工協に働きかけて、シンポジウムの開催などを企画していきたい。
  - ・更なるメンバーを募集中

#### 4-6-2.ホームページ運用WG 活動計画（岩本）

- (1)活動の目的
- (2)活動内容
  - ①コンテンツの見直し及び拡張（更新予定）
  - ②HP 更新計画
  - ③掲載情報受け取り方法検討
- (3)メンバー 5名

#### 4-6-3.就職支援WG 活動計画（橋本）

- (1)活動の目的
- (2)メンバー 6名
- (3)活動予算
- (4)活動内容
  - ①「Civil Engineer への扉」販売促進
  - ②女子学生への就職支援

#### 4-6-4.企画WG 活動計画（牛山）

- (1)活動の目的
- (2)メンバー 3名

- (3)活動予算
- (4)活動内容

#### 4-7.平成21年度予算計画（山田）

#### 5.第29回総会について（三好）

- (1)開催時期平成22年6月25～26日
  - 第一日目午後：見学会 夜：懇親会
  - 第二日目午前：総会
- (2)開催場所全行程大阪市内または周辺地域

#### 6.第30回総会開催地について

- 関東地区が承認された。
  - ・以前に役員になったことがある方へ声をかける仕掛け作りをして欲しいという意見があった。

#### 7.フリーディスカッション

- 1. 新入会員参加者からひと言
  - 土木で頑張っている方が大勢いて、いろいろな話しができて嬉しかった。視野が広がった。刺激をもらった。自分も頑張ろうと思う。など
- 2. 新役員からひと言
  - ・会として外向きの顔を作っていくことも大切
  - ・会員の声を聞いていきたい
  - ・自分のできる範囲で頑張っていきたい
  - ・主要会員が少ないが見学会等頑張ってやっていきたい
  - ・（坑内労働規制緩和WGについて）機が整っているこの時に進めていきたい
  - ・特定の人に負担をかけないようにしたい

その他、「会」や「Civil Engineer への扉」をアピールするチラシ、リーフレット等作成してはどうか？作成してほしい。という意見がでた。





見学会「インタープリターと歩く森のツアー」報告  
中部地区 所 靖子

見学会の目的は、2005年愛知万博のメイン会場のその後の姿を紹介すると共に、万博時にも行われていた森のツアーを体験することにあります。

見学会は、リニモ（東部丘陵線）愛・地球博記念公園駅集合スタートです。

見学会当日の6月26日はとても暑い日になりました。実は 事前打ち合わせと食事ですっきりとし過ぎました。気がついたら、集合時間目前です。久々に 暑い中 走りました。見学案内側なのにこのようなスタートをしたのは 初めてです。焦ってしまいました。それから、駅で降りて最初に見える景色が 猛烈に広い駐車場なのも 違和感がありましたね。環境に優しいリニモだけど、愛知県ここ名古屋では、やっぱり駐車場はこんなに必要だということを 中部以外から来られた見学者の皆様が目線で見ると、車の町名古屋だなあ と思われるようで、もっと鉄道利用を勧めるべきだろうと思ってしまいました。

そのような個人の感想とは別に、本当に皆様 ようこそお越し下さいました。お会いできて 大変嬉しかったです。

公園内循環バスに乗り、森のツアーの発地 「もりの学舎」へ向かいました。

「森のツアー」では、1グループ15人程度の人数とするため、2グループに分かれます。荷物があり「もりの学舎」に荷物を預けて歩きたい人のグループと、預けなくても大丈夫で「もりの学舎」へ戻らず バス停へ直行できる人のグループに分かれました。一般参加の学生さんたちを含めて、うまく2グループに分かれることができました。

インタプリターは「森の案内人」です。今日の案内人にご挨拶し、もりへの入り口に架かる一本橋に見立てた、木をわたって森へと進みます。

最初に「ヤマボウシ」の赤い実をとって食べることを教わりました。ちょっと酸っぱくておいしかった。初夏のこの時期に手にとってすぐ食べることができる木の実が 森の中にあるんですね。栗とか銀杏と



かのような 手のかかる木の實しか知りませんでした。

森の中を歩くにあたって大切なこと

1. かぶれの木にさわらないこと

2. 蜂に出会ったときの対処法 蜂は熊が嫌い→黒い服の人は気をつける→蜂が刺すのは 敵だと思ふから→蜂が来たら 木の枝や石になったつもりでじっとしているのがよいということをお教わりしました。見せていただいた瓶入りの蜂の大きなこと！体長5cmはありましたね。

森に入って 12人がさらに3グループに分かれて 森の中から「色」を探す遊びが始まりました。「白群（はくぐん）」という色を探してください、と言われて 遊びの苦手な私はすっかり固まっとうろたえました。どうしてこんな自然の中で 突然そのような文語が現れるんだ！ 自然と言えど 土圧 とか 斜面の安定とか じゃないのか！ というよううろたえの中で 思わず自分のはいていたスラックスの色 濃い焦げ茶 を指していました。参加された皆さんは 葉っぱの裏だとか 陽のあたっていないところのこの葉の色とか 色を探して 楽しみました。ちなみに「白群」は白色の「白」と群青色の「群」の混ざった色の意味で 限りなく白に近い群青色といったところでしょうか 石 にそのような色がありました。



自然の中には様々な色があります。木の葉の緑、幹の茶色、地面の石の色、というだけではなく、緑も陽が当たっているところの 何々の木の葉の色 いや草の色はまた違うというわけで 日本人の雅な心は たくさんの色に それぞれ名前をつけました。美しいですね、不思議ですね。という体験ツアーです。

鳥の声や 木々をわたる風の音も聞きながら、約1時間の森のツアーは無事終了いたしました。

おまけは、もりの学舎へ戻らず、最寄りバス停まで歩いた途中にありました。森を見下ろす展望台から 「サツキとメイの家」がとてもよく見えたのです。小さい子供がいたらよかったなあ きっと喜ぶだろうなあ と つい普段の自分に返った一瞬でした。



たぶん この見学会で私が学んだことは、普段の自分を活かしてやっぴいこう ということだったなあ と思うこの頃です。



## 講演会報告

中部地区 中西 利美（司会）

日 時：平成 21 年 6 月 26 日（金）

参加者：33 名（会員 19 名、会以外女性 10 名、会員外男性 4 名）

場 所：愛・地球博記念公園 愛知国際児童記念館内 A 会議室

演 題：「愛知万博の開催とその後について」～愛知万博の理念と成果の継承～

講 師：愛知県副知事 稲垣 隆司氏

技術士（環境部門）、一級ビオトープ計画管理士

土木学会 継続教育（C P D）プログラム認定 1.3 単位（JSCE09-0128）



土木技術者女性の会第 28 回総会の行事の一環として、総会前日の 6 月 26 日（金）に見学会とセミナーを実施しました。セミナーの内容は、第 24 回総会を中部支部担当で実施した 2005 年は、海上の森の一部と愛知青少年公園を会場とする愛知万博開催時と重なり、万博の基盤整備にあたった林明主幹より、万博の整備に当たり 3 R（Reduce＜発生抑制＞、Reuse＜再利用＞、Recycle＜再生利用＞）の徹底やオオタカに対する環境保全の取り組みについてお話いただいた後に、開催中の万博を見学したことを受け、今回、万博閉幕後 4 年が経過した会場跡地を参加者が、先に見学し肌で感じていただくと同時に、深く環境万博に取り組みされていた技術士でもある副知事の稲垣様を講師にお迎えして、愛知万博の理念と成果がどのように現在へ継承されているのかということを中心にご講演いただきました。



### 1. 愛・地球博記念公園の利用について

会場設営の工夫、万博開催時の状況、万博後の利用状況と今後の計画について、“自然の叡智”のテーマを継承した工夫をおりまぜて写真や地図で経過を、説明と目で確認することができました。

### 2. 愛知万博の理念と成果の継承

- ①交通システムとして、リニモ（走行方式：常電導吸引型磁気浮上・リニアインダクションモータ推進方式）や燃料電池ハイブリットバスなどの環境に優しい輸送手段を採用、現在パーク&ライド駐車場の整備の実施
  - ②エネルギーとして新エネルギー発電プラントや燃料電池の実用への取り組みとそれを見学するバックヤードツアーが想像以上の成功を収めたこと、現在、「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」で太陽光発電 1 件、バイオマス・廃棄物 1 件、燃料電池 2 件、の実証研究
  - ③廃棄物の再利用等については、開催時来場者 9 種類、参加企業 17 種類のゴミの分別の実施と生分解プラスチックの食器類の使用、未来を先取りした地域内資源循環とエネルギー供給システムの先導的導入とデータの蓄積、開幕後ゼロエミッション・コミュニティ構想（9 つのモデル事業）
  - ④環境保全活動は開催時から継続している EXPO エコマネーの実施、
  - ⑤自然環境保全活動は、あいち海上の森センター、もりの学舎で「自然の叡智」を人類社会にどのように生かせるかを地球環境から森林や里山を基軸としての学習並びに COP 10 の開催
  - ⑥文化・芸術（あいちトリエンナーレ 2010 の開催）
  - ⑦上海万博への出展（数日間のイベント実施）と日本人来場者向けボランティアの募集・派遣
- ### 3. 生物多様性第 10 回締約国会議（COP 10）開催に当たっての愛知・名古屋の役割
- ①自然環境に十分配慮した開発事業の実施（生物多様性の保全に配慮した取り組み視点）
  - ②開発に当たって生物多様性の保全・利活用に配慮した取り組み（例）

### （2）万博後の利用状況と今後の計画

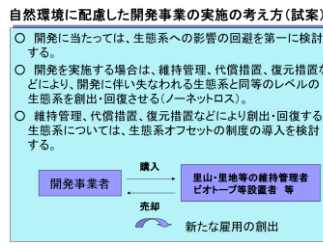


③ 自然環境に配慮した開発事業の実施の考え方（試案）

④（参考）管理・復元等措置により生態系の回復を目指した取り組み（例）

2010年10月の会議の支援、地域のアピールや交流の他に地域からの具体的な行動・発信（ローカルアクション）例をお話しされ、参加者に対し率直な意見を求められた。

会場より、4人の方から質問がありその中で、上海万博に出展を担当されている会員から、今一国民の関心が少なかった愛知万博の広報活動を知りたいと切実な質問も出されました。時間の関係上、ローカルアクションに対する意見は、アンケートを参加者に配布し、後日回収することになりました。



アンケートの内容の一部を割愛して紹介させていただきます。

1. 万博前後では愛知県民の意識が「環境」とか「資源の有効利用」（分別再利用）でものすごく変わって良いことだと思う。
2. 森林の再生事業の必要性は理解できるが、この事業について万博の時のような市民へのPRが進まないものかと思っている。
3. 万博で培った環境へ配慮した技術、ボランティアの心意気等伝えていただきたい。
4. あいち自然環境保全戦略の中の取り組みは言葉が魅力的だが漠然としているように思われるので特に注目し期待しています。
5. 「開発事業者」とは、行政をイメージされたものなのか、民間でしょうか、また民間相手にこのような提案された実績はあるのでしょうか？民間に実施されるとなると法律の制定というレベルにまで引き上げる必要があるのではないのでしょうか？
6. 里山・里地の安定的な維持管理について、名古屋付近では農作業をしたいと思っている人が多くいるので、利用可能な休耕田を区画割りして農作業ができる場として提供できればいいと思う。

セミナーに参加していただいた皆様、また、アンケートにご協力いただきありがとうございます。講師をされた副知事の稲垣様からも“全国からおいでいただいたのですね。ありがたいですね。”とおっしゃっていただきました。

稲垣副知事には、大変お忙しい中、愛・地球博からCOP10への取り組みについて、貴重なお話をいただきありがとうございます。また、愛知県の職員の皆さまにも多大なご協力をいただきました。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

以上





## 新役員

桑野玲子さん  
～会長～

今年度より会長の役を仰せつかった桑野です。現在、東京大学生産技術研究所にて地盤機能保全工学研究室を主宰しています。これまで、大成建設、英国インペリアルカレッジ、(独) 土木研究所などでも仕事をしてきました。当会には大成建設社員だった20代の頃からお世話になっています。いつも快調に全力疾走できるわけではありませんが、様々な場所や立場で、多くの方と係わって、助けていただきながら仕事を続けてきました。

“土木における女性の活用” 的コンセプトは、20年以上前から何度も耳にし、関連の企画やイベントは時折繰り返されています。私自身、概念だけの”女性の活用“にいささか愛想をつかしてマイペースを貫いていましたが、最近になってようやく少し、実効性を伴いそうな男女共同参画プランがあちこちで進み、具体的な取組みも目に見えるようになってきたように思います。研究成果発表などと同じで、周りの方に新しい考えを理解してもらおうと思ったら、飽きるほど繰り返し、あらゆる方法を駆使して、主張・説明を続けないとなかなか浸透しないものです。最近、女性技術者へ良い風が吹いてきたのも、ようやく機が熟してきたということなのかもしれません。当会のシニアメンバーの中にも、各組織で重要な立場について活躍されている方が増えてきました。この流れを利用しつつ、当会のネットワーク機能を生かし、社会的役割を果たせるとよいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



## 見学会&懇親会&総会に参加して

北海道地区 田原さゆり

道外での総会に出席するのは久しぶりです。前回の中部地区(2005年)以来、4年ぶりかなあ。毎年この時期は、稼業の河川環境調査が真っ盛りで日程調整に四苦八苦するもので。そうはいつでも…やはり行きたい。せめて1年に1度だけでも他地区の人たちと会って話がしたい。私にとって女性の会に所属している最大の目的は、お互いの顔を見て話をして元気になることだもの。前回見学した愛知万博の跡地がどのように利用されているかも興味深かったし。やっぱり行かなくちゃ。来年とか、いつかとか、そのうちとか、そんなこと言っていないで「行く!」と決断したのです。

会の運営等について討議する総会はもちろん大切ですが、私は前日の見学会、懇親会に参加することを何よりも楽しみにしています。インタープリターと歩く森のツアーは、所要時間 50 分ときいていたので暑い中どんだけ歩かされるのか…と覚悟を決めて挑みました。いやあ、たしかに暑かった。でも、ゲーム感覚で自然と戯れ、子どもにかえた気分がとても楽しいひとときでした。ただ、講演会を聴くための体力と気力も温存しておくべきだったなあとちょっと反省しています。

懇親会では美味しい名古屋名物とアルコールをたっぷり賞味しながら、たくさんおしゃべりして盛り上がりました。昨年の失敗(?)を教訓に、二日酔いにならない程度のほろ酔いかげんでね。

翌日の総会では予定時刻をオーバーするほど活発に意見交換がなされました。いつもおもうのは、会議(質疑応答)のレベルが高いなあということ。無駄なく、淀みなく、そして思慮深い。さすが技術の世界で生き抜いている女性たちだなというも感心させられます。

総会後はN西さん、N島さんとお昼ご飯にご一緒させてもらいました。その後役員会が終わるまでの間、N西さんにトヨタテクノミュージアム産業技術記念館を案内していただき、おもわぬ見学&観光を楽しむことができました。N西さん、暑い中どうもありがとうございました。



テクノミュージアムにて(2009/6/27)

役員会の後、帰るまでに時間のある方々とともに名古屋駅付近の喫茶店でお茶しながらまたまたおしゃべり。名古屋は喫茶店文化の街とききましたが、ほんとうにどこの喫茶店も満員。オシャレとはちょっと言い難いけれど 10 人もの団体を入れてくれるなら、まあいいかなというお店で語り合い、さらに時間のある 5 人はその後も場所を変えてウダウダ…。最後は夜行バスで東京に帰るH本さんと名古屋名物「ひつまぶし」を食しながら談笑。思えば母娘に近いくらいの年齢差だけど、とても楽しい時間を過ごすことができました。おつきあいくださってありがとう。

インターネットが普及して「輪」も web 上で読めるようになったし、遠くにいる会員の方々ともメールによる交流ができるし、経済的で速くて確かに便利にはなりました。一方その裏で、なんとなく人のぬくもりを忘れかけてしまいそうな、漠然とした不安のようなものも感じています。今回、思い切って総会に参加し、みなさんにお会いできてよかったなあと心底おもっています。顔を見ながら話をすることはとても大切ですね。会社の会議をパスしてでも名古屋へいった甲斐がありました。心をこめておもてなししてくださった幹事のみなさま、総会準備にご尽力くださった事務局のみなさま、感謝しています。どうもありがとうございました。来年もまた会いに行けるよう、ぜひとも社内と家族の協力を獲得しますね。

## また会える喜び

関東地区 笹尾圭哉子

2005年の中部地区の総会では、その前日に愛知万博（愛・地球博）を訪れた。暑いさなかに大勢の人にもまれながら、午後からの僅かな時間で万博を堪能した。環境に配慮した空中の回廊と夕闇の池に浮き上がる巨大なサルのイリュージョンは忘れることができない。

今回はその愛知万博会場の跡地を訪れた。記念公園として整備された跡地は、森や池以外は木立がまだ小さく、梅雨を忘れるような強い日差しがアスファルトで跳ね返り、前回同様暑い日だった。ここで、小さな森のツアーを体験し、貴重な講演を拝聴した。

「インタープリターと歩くもりのツアー」は、自然大好き、森大好きの私にはかなり嬉しい企画だった。はじめにヤマモモの実を「赤い実は甘くておいしい」と薦められ、味はともかくかわいい姿に満足した。それから急な坂道を「どこまで行くの？」とドキドキしながら登ったが、少し入った森でゲームが始まった。ゲームの条件の「そこに



ヤマモモの赤い実

あるものはそのままに」という言葉から、環境への配慮を簡潔に教えられた。何より、色を探すゲームはおもしろくて、ひんやりとした森で葉っぱやら小石やらを探すのにしばし夢中になった。自然の色合いの豊富さや、日本人の色を表現する言葉の豊かさ、古来の生活の豊かさに思いを

馳せることができた。今でも木漏れ日と森のあわい色合いが思い出される。

ツアーの後、愛知県副知事で環境部門の技術士の稲垣隆司氏の講演を拝聴した。愛知万博会場跡地をどのように公園として有効利用していくか、エネルギー施設などの各施設が現在どこで利用されているか、そして、なにより愛知万博の理念

の継承について、講演していただいた。「継続は力なり」の言葉のとおり、1度限りのお祭りで終わるのでなく、試みや理念が着実に根付いているのだと感じた。公園内にあるりっぱな会議室でゆったりした気持ちで聴いた講演は、質疑応答も交えてとても充実したものだだった。来年は名古屋でCOP10が開催され、上海万博への出展もあるそうで、成功を祈念したい。

程よい疲れと喉の渇きがピークに達した頃、待ちに待った懇親会で1日目を締めくくった。年に1度の各地区からの会員との逢瀬は、間違いなく盛り上がる。最近は弱くなったお酒も躊躇しつつ結局おいしくいただく。今年は何人かの人と10年ぶりくらいで会うことができた。「少しも変わりませんか」と言われ、「そんなはずは...」と言いつつ、内心嬉しい。見かけは多少変わっても、心意気が変わらないのはみな同じ。いろいろ苦労もあるだろうけど、お互い元気で会えて良かったね、と思う。

2日目も梅雨明けを思わせる上天気だった。総会は、地区の活動報告や活動計画に加え、各WGからの報告及び提案があった。今回は会長、副会長をはじめメンバーの約半数が交代した。会の方向性も一段と外へ向けての発信に重きが置かれることとなった。長く会員間の親睦を第一の目的としてきたが、最近の外部への発信は目覚しく、今後の展開がとても楽しみだ。

議事終了後、初参加の若くて元気のいいメンバーが、感激に声を詰まらせながら総会の感想を述べてくれた。私も思わず、目頭が熱くなった。さらに追い討ちをかけるように、今回のホスト役の小畑さんからお礼の言葉があり、つられてポロッと涙がこぼれた。小畑さんをはじめ、総会をお世話してくださった中部地区の方々、本当にありがとうございました。

総会は年に一度、エネルギーを蓄えるとき。来年の関西地区総会で、また会えることを楽しみに。





## 初めて総会へ参加して

関西地区 納田陽子



土木技術者女性の会へ入会して早一年と少し経ちました。昨年の総会は、まだ入会したばかりで右も左もわからず、総会だなんて、恐れ多くて行けません…という感じでした。ですが、この一年間、関西地区でのさまざまな活動に参加し、関西地区メンバーの皆様と交流して、毎回たくさんの刺激と元気を頂くことによって、土木技術者女性の会へ入会して本当によかったとつくづく思いました。他の地区のメンバーの皆様にも、是非お会いしたいなあという思いが、日に日に強くなり、今年の総会の案内を頂いたときは、絶対参加しようとして心に決めておりました。

とはいえ、総会も初めて名古屋も初めてと何もかも初心者の私。頼りない私を心配して下さった関西地区メンバーの方々が、「ホテルはここが安いよ!」とか、「近鉄で行くなら、チケット一緒に取ってあげるよ!」とか、色々とお気を使って下さり、あっという間に宿と近鉄特急券の手配が済みました。しかも、格安。本当にありがとうございました。

そしてついに当日。現場見学会から始まり、全ての行事をがっつりと参加いたしました!



色あわせに皆さん真剣!

現場見学会とセミナーでは、当時、『愛・地球博』

に行けず、万博が開催されたところはどんなところなのか、万博開催後どうなったのか、とても気になっていたので興味津々で、森の散策を満喫し、愛知県副知事稲垣氏によるセミナーも大変興味深く傾聴しました。

それから、私が一番楽しみにしていた懇親会! くじ引きで決まった席へつき、最初は何をお話すればいいかどきどきしていましたが、すぐに仕事に関するお話で共感し合い話題に尽きることはなくなりました。皆さん、私よりもずっと経験豊富で、たくさんのことを乗り越えてこられた方々ばかり。なのに、ちっとも辛そうじゃない。感動でした。パワーのある方々ばかりで、だんだんとお酒が入ってくると皆さんどんどん陽気になって、本当に楽しくて時間が経つのを忘れちゃった。



翌日はコメダコーヒーで朝食をとり、いざ総会へ。昨日、あんなに飲んだはずなのに皆さん一変してお仕事モードです。活発な意見が飛び交い、気になることはちゃんと話し合う。皆さんの女性の会に対する熱意がとても伝わってきました。

本当に素敵な先輩方ばかりで、総会へ参加して本当によかったと思います。私も皆さんのような魅力的な女性になりたい。そして、一緒に女性の会を盛り上げて行きたいです。今後ともよろしく願いいたします。

## 土木技術者女性の会に参加して

岩瀬三枝（ゲスト）

### はじめに

まずは自己紹介をさせていただきます。私は、中日本建設コンサルタント株式会社で、下水道に関わる調査・計画・設計業務を担当しております岩瀬三枝と申します。

今回、見学会から懇親会、総会に至るまでの2日間、非会員なのにも関わらず、フル参加させていただきました。しかも、感想文を書くと言う大役を仰せつかり、どのようなことを書かせていただいたらいいかとあれやこれや考えましたが、率直な感想を述べさせていただきたいと思います。

この2日間にタイトルを付けるとするならば、『吸収！』です。

### 吸収！その1：見学会（マイナスイオンの吸収！）

普段は、会社と家の往復のみで、ほとんど自然に触れることがありません。今回、インタープリターの方から説明を受けながら森を歩いたことで、ヤマモモから教わる自然の甘み、森の中と街の中の温度差、スズメバチが黒色を嫌う理由、木の葉の生きる術、自然に存在する「色」の種類の多さなど、自然のすばらしさを改めて実感し、多くのことを学ぶことができました。今後、森や山へ行く機会があったら、このようにいろんな視点で自然を観察してみようと思います。



### 吸収！その2：セミナー（環境の知識の吸収！）

愛知万博の開催が決まった当時、私はまだ学生でした。

さして万博に興味があったわけでもありませんが、ただ会場候補であった「海上の森<sup>カイン</sup>」は、多くの自然が残されており、絶滅が危惧される種の生物が住んでいる」ということを新聞各紙等が



報道していたため、万博のために自然の形を変えて開催する意義とは何だろうという気持ちは少なくともありました。

万博の開催時には機会あって、バックヤードツアーに参加することができました。ここでは、開催中の愛知万博がどれだけ環境に配慮されているのかを学びました。

今回のセミナーでは、「愛知万博の開催とその後について」というテーマで、計画段階から開催中、現在に至るまでのお話を聴くことができました。森を歩いた後のセミナーということもあり、眠くなってしまうのではという心配もありましたが、眠気が吹っ飛ぶような興味深い内容でした。

私は、万博後の取り組みについては、どのように進められているかほとんど知りませんでした。万博が終わったから終わりというのではなく、理念や成果を継承して、取り組みが進められており、今後も継続されていくそうです。

地域の自然をそのままを残す（①保存）することは非常に大切なことだと思います。しかし、そのまま残すだけではなく、人間と自然とが共生して生活をするためには、②保全、③復元、④代償の視点も取り入れ、さらには、失われた自然に対して、⑤創造することも必要であることが分かりました。

また、2010年には、名古屋市でCOP10が開催されることから、開催地域として多くの情報発信や様々な取り組みが積極的に進められているようです。この地域に住む一住民として、何かしらの形で、参加できたらと思います。

### 吸収！その3：懇親会（女性土木技術者としてのパワー吸収！①）



懇親会では、いろいろな方のお話を聞くことができ、本当に刺激を受けました。心臓ドキドキして、

心を奪われそうになるくらいステキな女性（よく笑い、よく喋り、よく呑み、よく食べる。）ばかりで、興奮しっぱなし、あつという間の3時間半でした。

同じ土木業界で働く女性と言っても、皆様、それぞれの立場で、それぞれに充実した毎日を過ごされているんだなあということが、体からにじみ出ているという印象を受けました。そんな、皆様のオーラを吸収し、私もお仕事もプライベートも充実させて、自分色の生き方を見つけていこうと思います。

#### **吸収！その4：総会（女性土木技術者としてのパワー吸収！②）**

昨年度の活動報告から、今年度の活動計画までを聞き、各支部や、WGで様々な計画が立てられ、勉強会、学生さんに対する就職支援等、知らなかった『土木技術者女性の会』の活動内容を知ることができました。

皆様、お仕事はものすごく大変だと思います。その中で、仕事とは別の『土木技術者女性の会』としての今後の活動が真剣に

話し合われていました。

前日、懇親会で、たっぷりと美味しいお酒をいただいて、遅くに帰宅したこと、総会会場（勤務する会社ですが）が家から遠く、朝6時に起床したことから、眠くなる可能性大と思っていましたが、ずっと充実した話し合いぶりに感動していました。

あー、ステキな女性ってこういう方たちを言うんだなあ、また改めて実感しました。

#### **おわりに**

土木業界は、まだ女性にとっては甘くはない仕事だと思っています。ずっと働いていくことへの不安もあります。

そんな中で、このような貴重な機会をいただき、多くの女性がそれぞれにご活躍されているのを知り、自分なりの視点でいろいろと吸収ができ、本当に充実した2日間でした。どうもありがとうございました。

これを機にこれからも女性土木技術者として頑張っていきたいと思いました。重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

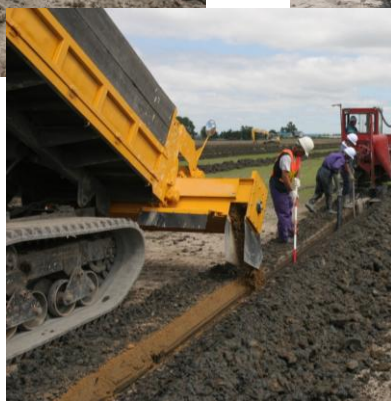
以上、乱文お許しください。

平成 20 年 7 月 26 日 北海道地区現場見学会に参加してきました。

工 事 名：経営体 南長沼中央 第 1 工区  
 発 注 者：北海道空知支庁 南部耕地出張所  
 工 期：平成 20 年 5 月 2 日～平成 20 年 9 月 30 日  
 施 工 者：開発工建株式会社  
 工事概要：ほ場の基盤整備（整地工・暗渠排水工・用水路工・排水路工・耕作道路工）  
 見学対象：暗渠排水工

工 事 名：平成 20 年度 防災ダム 杵臼 第 1 工区  
 発 注 者：北海道空知支庁 南部耕地出張所  
 工 期：平成 20 年 4 月 21 日～平成 21 年 3 月 10 日  
 施 工 者：中山・伊藤・荒井特定建設工事共同企業体  
 工事概要：堤体工・土捨場処理工・沢水排水処理工・洪水吐き工・仮設工  
 見学対象：堤体工のうち盛立工

お天気に恵まれ、見学会日和でした。最初に見学させていただいた現場は「経営体 南長沼中央 第 1 工区」です。暗渠排水管の布設作業中で、暗渠排水の床掘り用に改造された特殊な機械で掘削していました。掘削幅が 150～200mm ということで、そんなに細い掘削バケットがあるのかな？施工性悪そうだなと考えていましたが、そんな心配は無用でした。キャリーダンプから直接、疎水材が埋め戻されすごく効率的でした。



床掘・暗渠排水管布設状況



次に、「平成 20 年度 防災ダム 杵臼 第 1 工区」を見学させていただきました。この事業は、洪水調節容量を確保できるように杵臼ダムを改修することで、ため池下流域の洪水被害を解消し、農業経営の安定化を図ることが目的だそうです。

フィルダム堤体盛土の施工中に、堤体の天端を歩くことができるなんて感激でした。



工事概要を説明していただきました。



材料の違いがくっきり分かります。

土取り場も見せていただきました。現在は、切土法面に腐植酸種子吹付け作業中でした。



最後になりましたが、今回の見学会を計画していただきました地区世話役の中山さん、貴重な現場を見学させていただいた工事担当の方々に深く感謝いたします。



「土木の仕事の魅力と私たちの働き方」報告

関東地区 橋本 麻未

日時 : 平成20年12月13日(土) 13時00分~17時00分

場所 : 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

参加者 : I部 学生 27名(1名), 社会人44名(17名), プレス4名 計75名

II部 学生 12名(1名), 社会人23名(15名) 計35名

懇親会 学生 3名, 社会人14名(10名) 計13名

( )内は会員=牛山さん, 大橋さん, 小畑さん, 田中さん, 田村さん, 龍さん,  
須田さん, 石塚さん, 岡田さん, 岡村さん, 北原さん, 佐藤さん,  
時弘さん, 箱田さん, 松本さん, 三村さん, 橋本

当日9時, 寒空のもと, 会場設営隊が表参道にある東京ウィメンズプラザに続々と集合. ものすごい勢いで設営を完了し, 周りのオシャレなお店たちが開く頃にはすでに暇を持て余しつつ, 12時30分の会場に備えました.

5分前には人がまばらだったのが, 大量の滑り込みセーフ組が席に着いた13時ちょうど, 司会の北原さんより開始宣言があり, 東京ウィメンズプラザの柴田所長にご挨拶をいただいた後, いよいよ講演が始まりました.

第I部 講演会

■基調講演「土木の魅力と私たちの働き方」

基調講演では, 鹿島建設の須田久美子さんに, 橋梁現場で副所長という重責を担いながら2人のお子さんを育てている女性技術者として, ワークライフバランスについてお話いただきました.

ゼネコンに入社した経緯(学生時代の現場実習時のオトコマエな写真を披露!)から, 土木技術者女性の会で様々なワークスタイルに出会ったことが今に繋がっていること, ずっと現場を希望し続け, 技術研究や設計での業務が, 希望叶った今の現場に結びついたこと, 等, いつも前向きな須田さんの話を伺い, 須田さんのバイタリティーを分けていただいたような気持ちになりました.

そして, ゼネコンの仕事内容について, 研究・設計・施工を業務の流れを示しつつわかりやすくご説明され,

現在副所長として担当されている裏高尾橋梁工事についての話をさせていただきました.

コツコツ頑張っていればいつか自分のやりたいことが必ずできる. 須田さんの「人生満足度グラフ」では100%を示している期間が半分近くあり, その言葉を裏付けていました. 「凄いな人の何だか凄い講演」ではなく, 須田さんらしい自然体で言葉がまっすぐに伝わってくるような, とても素晴らしい講演でした.



■ライフスタイル紹介「ちょっと先輩の1日」

ここでは入社2~5年目までの「ちょっと先輩」に, どのような生活を送っているのかを発表していただきました.

発表者は国土交通省 国土技術政策総合研究所で働く入社3年目の伊藤嘉奈子さん(左), いであで働く入社5年目の阿部澄恵さん(中), JR 東日本で働く入社2年目の松本立子さん(右).

業務内容や平日の過ごし方, さらに土日の過ごし

方まで、具体的にお話いただくことで、特に学生にとっては働くことに対するイメージが分かりやすくなったのではないのでしょうか。



## 第Ⅱ部 グループディスカッション

グループディスカッションでは、それぞれ8名程度の班に分かれて、土木分野で働く女性技術者の先輩を囲んで働き方について話し合いました。意見は各班でまとめて学生に発表していただきました。学生からの意見は下のようなものでした。

- ・意見交流をもっとたくさんしたい。
- ・色々な話が聞けてよかった。
- ・次の機会にも参加したい。
- ・土木分野で働いている女性がたくさんいて心強い。
- ・仕事を始めても家庭との両立もやり方次第でできる。
- ・将来の仕事に対して勇気が出る。

- ・女性が働くという点では今は幸せな環境である。
- ・自分の目標をしっかりと持つことが大事。
- ・土木の職種（発注者、コンサルタント、ゼネコン）の違いが分かった。
- ・プロフェッショナルになるということはとてもカッコいい。
- ・土木という仕事の幅の広さを感じた。



まだ多いとは言えない土木分野の女性が多く集まり、たくさんのワークスタイルを聞くことで、学生にとっては働き方の具体的なイメージがつきやすくなり、社会人にとっては現在のワークスタイルに直接参考になる、大変有意義なセミナーとなったと思います。

渋谷近くで行われた懇親会は、くじによって席決め。盛り上がったのは言うまでもありません。

## 新役員

福山貴子さん  
～事務局スタッフ～

今年度より、事務局のメンバーとなりました福山貴子です。2003年に鹿島建設に入社し、現在7年目です。

土木技術者女性の会には、入社したての頃に職場の先輩に誘われて入りました。入会してすぐの北海道での総会に参加し、皆様の意欲とパワーに圧倒されたのを覚えています。

それ以来、女性の会のイベント等には参加していませんでしたが、今回、事務局スタッフとしてお手伝いさせて頂くことをきっかけに、また皆様と交流できることを楽しみにしております。

微力ながらお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



「名古屋港内見学会」のご報告

中部地区 小畑 敏子

日 時 2008年8月29日 14:30～16:30  
参加人数 土木技術者女性の会 3名、技術士会 49名  
内 容 田村顧問（元名古屋港管理組合トップ）の説明を聞きながら、名古屋港内を船で1周。



1. はじめに

前年に名古屋港開港 100 周年を迎え、中部技術士会三部会と土木技術者女性の会とが合同して、見学会が行われました。

豪華客船という前振りのとおり、社長が座るようなリクライニングシートが一人ずつに与えられ、船室の中央には船の現在地を示すモニターがあり、ゆったりとした気分で名古屋港についての貴重なお話を聞くことが出来ました。



船の外観

2. 名古屋港の発展

名古屋港は、明治 40 年（1907 年）開港してから面積を広げ、現在は新しくコンテナターミナルを作るなどスーパー中樞港湾作りを進めています。歴史の古い「潮風ふ頭」や「空見ふ頭」は化学薬品や石炭の取扱量が多いのに対し、コンテナターミナルとなっている「飛島ふ頭」や「鍋田ふ頭」は自動車の輸出など物流の拠点になっています。

船からは、様々なクレーンのタイプが見られ、錆びたようなものから新しい馬型のまであり、そこからも歴史を感じることが出来ます。また、赤い鉄鉱石が山のように盛られている新日鉄の製鉄工場、日清製粉の等の食品工場、火力発電所で使用する液化天然ガスのタンク、コンテナターミナル（24 時間フルオープンが可能となる遠隔自動のラバータイヤ式ガントリクレーン）が見られ、産業を通して名古屋港の進化を感じました。

船から見えたデンマークの船会社 MAERSK LINE は長さ約 400m あり、船で最も大きいものだそうです。とても迫力がありました。



新日鉄の製鉄所



MAERSK LINE

3. おわりに

今までの名古屋港のイメージは名古屋港水族館やブルーボネット、建築違反で営業停止となっているイタリア村など観光地としてなじみが深かったのですが、船から名古屋港を覗くと、名古屋の産業やものづくりの場が見られ、中部の元気の源はここにもあるのだと感じました。

そして、お話の中には、名古屋港からの車の輸出は三菱系が多い、北浜ふ頭にあるサングレイン(株)では日本に無いお酒を製造している等、他では聞けそうにないものも散りばめられ、名古屋港をあっという間に 1 周したように思えました。



「インタープリターと歩く森のツアー」参加レポート

中部地区 平永佐知子

- 実施日：平成 21 年 3 月 7 日（土）
- 実施場所：愛・地球博記念公園（愛知県愛知郡長久手町）
- 内 容：
  - ・「インタープリターと歩く森のツアー」参加
  - ・6月の総会（中部地区主催）の打合せと下見（昼食食べながら、歩きながら）
- 参加者：9名（中部地区メンバー5名、メンバー外1名、メンバーの子供3名）

😊 「インタープリターと歩く森のツアー」とは？

今年6月の総会で「見学会」にご参加された方には御説明の必要はないですね？ そうそう、インタープリターさんって素敵！って感激した、あのツアーのことです。ご参加ありがとうございました！

残念ながら見学会に参加出来なかった方のために～2005年に開催された愛知万博「愛・地球博」会場内の森を、インタープリターさんが丁寧に紹介、案内して下さる50分程のツアーです。このツアーは、万博開催期間中から現在まで、当地で継続して実施されています。

😊 ツアーに参加して

まだ肌寒さの残る3月上旬、中部地区メンバー+αは、総会の下見も兼ねてツアーに参加しました。実は筆者（+筆者の子供）にとっては、ツアー参加は二度目でした。一回目は万博開催期間中、当時は「どこのパビリオンも混んでるなあ、でもこのツアーなら待ち時間少なそう～」という消極的な理由で参加しましたが、蓋を開けてみると穴場、速くて近代的な乗り物や3Dメガネで立体映像を見るものいいけど、万博のテーマは「自然の叡智」、これを肌で感じる事が出来た一つが、このツアーだったなあと思います。

2度目のこの日も新鮮でした。インタープリターさんが、張り切って？森の植物、動物を紹介して下さいました。「動物が安心して眠ることが出来る寝床を探す」というミニゲームもやりました。

もちろんツアー参加と同時に、総会時の段取り（例えばツアー場所までの移動手段、時間等）も確認でき（但し、確認したのは私ではなく他のメンバーの方が、です…すみません）、充実した1日を送ることが出来ました。



写真1：インタープリターさんの話を真剣に聞くメンバー



写真2：この子達が安心して眠れる場所はどこ？



0. 概要

- ・日 時：平成 20 年 10 月 18 日（土）  
13：30～17：30
- ・行 程：琵琶湖疏水記念館－南禅寺－水路閣－田辺朔郎像－殉職者慰霊碑－旧九条山浄水場ポンプ室－蹴上インクライン－ねじりまんぼ（希望者のみ）懇親会 東華菜館
- ・参加者：会員 9 名、非会員 2 名、学生（非会員）1 名の合計 12 名。そのうち関東地区から 3 名のご参加をいただきました。

1. 見学会について

今回の見学会は、「エイジング」をテーマに、琵琶湖疏水とそれに関連する施設の見学を行いました。特に琵琶湖疏水の水路閣やインクライン（傾斜鉄道）は、国の史跡に指定されるほどの近代土木遺産として広く知られています。

今回は、子々孫々の時代まで残る構造物、そして当時の土木事業にける土木技術者の情熱を通して、現代の土木事業、土木技術者が見習うべき姿を学びました。

2. 琵琶湖疏水について



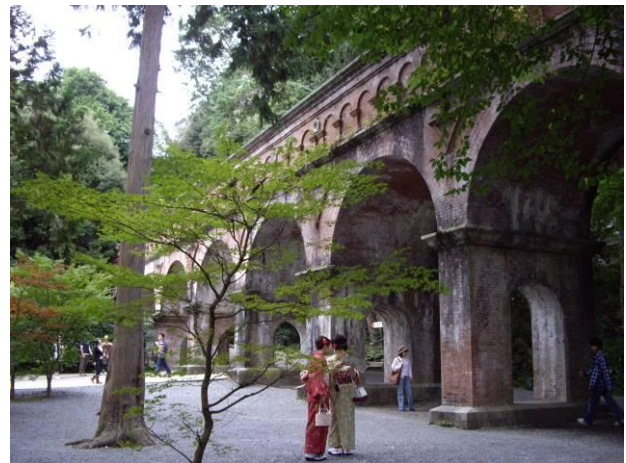
・琵琶湖疏水概略図

琵琶湖疏水は、首都が東京に移り、廃れる一方であった京都の復興を目指す、大きな土木事業でした。当時の

北垣国道京都府知事が疏水計画をすすめ、工部大学校（現東京大学工学部）を卒業したばかりの田辺朔郎を土木技術者の工事責任者に採用します。わずか 21 歳の工事責任者を置き、お雇い外国人技術者に頼らない、日本初の日本人による大プロジェクトでした。

琵琶湖疏水は 6 本のトンネル（疏水分線 3 本を含む）を開削し、滋賀県の琵琶湖から、京都の鴨川及び堀川までを結ぶ全長 19.5km の運河（疏水）計画でした。うち 1 本のトンネルは当時の日本最長のトンネルで 2,436m あり、日本の人夫、日本の技術者だけで造ったトンネルでした。

特に、疏水の水路閣は、南禅寺という京都の古寺の中にそびえるレンガ構造物で、建設当初は批判的にもなりました。しかし、100 年以上経った現代において、水路閣は残すべき遺産として認識され、国の史跡に指定されているほど美しい構造物です。これはレンガというあたたかさを感じる素材によるところも大きいのですが、100 年の時が経過したことによるエイジング効果が、さらにアーチ構造の美しさを際立たせています。



・着物の女性もいたところがいかに京都らしい。ちなみに会員の古谷さんも着物で参加されました（次ページの集合写真をご覧ください）。

3. 琵琶湖疏水記念館へ





・琵琶湖疏水記念館

琵琶湖疏水のあらしから、現在の様子までを詳しく解説し、当時の測量結果や工事日誌などの貴重な資料を展示している琵琶湖疏水記念館で、館長さんから館内を案内していただきました。



・館長による講義の様子

最初に、疏水の近代化遺産としての価値を知るビデオを鑑賞したあと、館内をくまなくご説明いただきました。館内には、当時の工事の様子を、京都府画学校（現 京都市立芸術大学）の先生が描かれた絵が掲げられていたり、模型でインクラインの原理が分かるようにしてあったりと、工夫の多い展示内容でした。



・館長による館内の案内

展示物のほとんどについて館長さんが説明して下さるのですが、その説明は多岐にわたり、ついて行くのに必死になるほど。館長さんが琵琶湖疏水をこよなく愛している姿勢がよく分かる説明でした。



・琵琶湖疏水記念館の前で記念撮影

#### 4. 南禅寺 水路閣へ

次はメインの水路閣の見学です。周りの風景に、レンガのきれいな赤色がとてもマッチしています。



・琵琶湖疏水水路閣（南禅寺内）

建設当初、かの福沢諭吉が、「京都にそぐわぬ構造物で



ある」と批判しましたが、現在では京都の景観の一部を作っている美しい構造物であることに間違いありません。

それを象徴するかのように、南禅寺の三門（重要文化財、廻り縁から下界を見下ろせる）に登っても水路閣は見えません。最高でも高さ13mの水路閣は、南禅寺という古寺の景観を損なわぬよう、レンガに白川石（花崗岩）を配してデザインを施し、装飾をしているのです。



・南禅寺三門

疏水のトンネル群も同様、坑口は屋根を配し、美しく見せるための数々の工夫がなされています。



・琵琶湖疏水のトンネル坑口のうちのひとつ

## 5. 田辺朔郎像、殉職者慰霊碑

この大事業の成功を記念し、当時の工事責任者であった田辺朔郎の功績をたたえ、彼の銅像が建てられています。



・田辺朔郎像

また、その先には疏水工事で命を落とした職員のために、田辺が自費で建立した慰霊碑があります。



・慰霊碑

6. 旧九条山浄水場ポンプ室（旧御所水道）、蹴上浄水場  
次は遠くから眺めるだけになりましたが、旧御所水道（防火用）ポンプ室であった旧九条山浄水場ポンプ室。これは大正天皇（当時は皇太子）をお迎えするためのバルコニーまで設けられた、とても美しいレンガ構造物で



す。琵琶湖疏水記念館で見たビデオの中でも、東京国立博物館の学芸員さんが、「日本で最も美しい土木施設」と絶賛していました。



・旧九条山浄水場ポンプ室（旧御所水道）

蹴上浄水場は田辺像の正面遠くに見えます。これもレンガ造り風の建物でした（第1期浄水場のレンガ造りの濾過池を模したもので、現在のものは鉄筋コンクリート造）。



・蹴上浄水場

また、すぐそばの高台に、現在のウェスティン都ホテルがありますが、これは当初、ビッグプロジェクトだった疏水を上から眺めるために作られたんだそうです（当初は遊園地（庭園）として開業）。疏水を上から眺めるなんて、当時の土木事業はそれほどまでに人々の関心を惹くものだったんですね。

## 7. ねじりまんぼとインクライン

聞きなれない「ねじりまんぼ」という言葉。疏水記念館の館長からも説明を受けました。

「まんぼ」とは主に鉄道をくぐるトンネルを指す関西地方の古い方言です。レンガを平積みするのではなく、

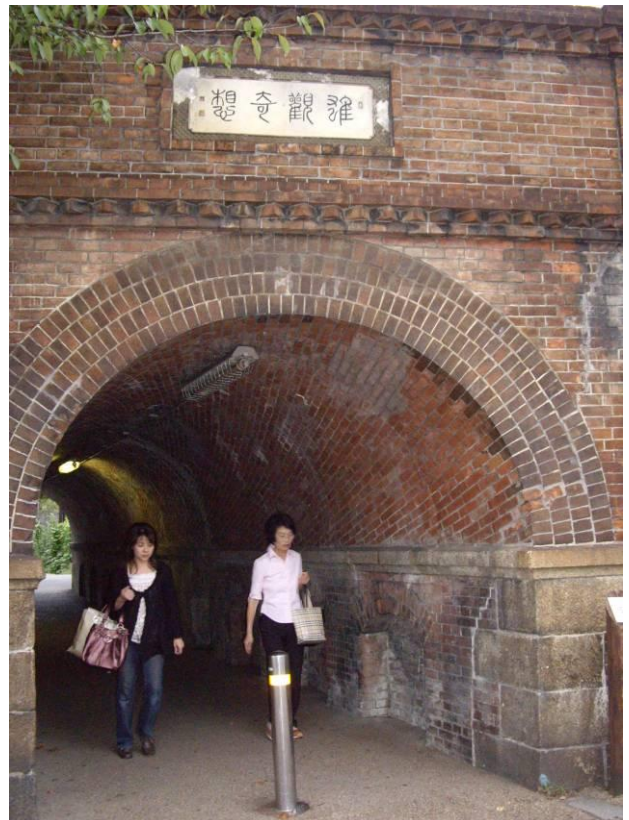
斜めにねじって積み、坑口付近の力がきちんと地盤に伝わるようにしたもの。



・ねじりまんぼ

しかし、参加したメンバーの誰もが原理を理解できず。当日参加した会員の2人には、ねじりまんぼの原理について、皆に説明できるよう、他の参加者から宿題が出されました。

「ねじりまんぼ」を検索すれば、まず初めに京都のこの場所が出てきますが、実際は日本国内に30箇所ほどあり、その大半が現存しています。ただ、旅客鉄道事業者以外が作ったねじりまんぼは、京都のここだけのようです。



・坑口上にある文字は北垣知事が書いたもの。



「雄観奇想 (ゆうかんきそう)」と書かれている。「見事な眺めと優れた考えである」の意。

蹴上インクラインは往時の姿を形態保存しています。



・インクラインを行き来した船、台車

一時期は 4 万隻を超えるほど舟運の栄えたインクラインでしたが、鉄道交通の発達により、昭和 23 年、運行を休止しました。



・インクライン軌道跡

ここも国の史跡となっており、線路に沿って歩くこともできます。今回は残念ながら雑草が生えていて、草ぼうぼうといった感じでしたが、春は桜がインクラインを包み、とてもきれいな場所になります。皆さんも是非一度お越しください！

たくさんの構造物を見て廻った今回の見学会は、当時の技術者の苦労と叡智を感じるものでした。

私達技術者が造る構造物は、100 年後、果たして残っているだろうか、ここまで市民に愛されているだろうか、と参加者の間で話題になりました。

日本の近代土木史の走りともいえる琵琶湖疏水。100 年以上の時間が経過した今、昔の土木技術者の偉業をもう一度しっかり見直し、学び直す時期が来ているのかもしれない。

## 0. 概要

- ・日時：平成20年10月18日（土）  
18：00～21：20
- ・場所：東華菜館（京都市下京区四条大橋西詰）
- ・参加者：会員8名、非会員2名の合計10名。見学会に来ていただいた関東地区からの出席者3名の方も、全員ご参加いただきました。

## 1. 懇親会

懇親会場は、京都の四条大橋のたもとにある「東華菜館」で行いました。

東華菜館は大正15年に完成したW.M.ヴォーリス設計の有名な建築物のひとつです。

東華菜館は北京料理店ですが、夏になるとビアガーデンも出すとのこと。普段のメニューはコース料理5コース、単品メニューもあります。

なお、コース料理を予約すると、東華菜館内の個室に入れます。今回は建物のエイジング効果を見る、という目的もかねていましたので、迷わず個室を予約しました。

また、当日の食事終了後には、店員の方に建物内をご説明いただきながら、各階見学させていただくことができました。

## 2. W.M.ヴォーリスについて

東華菜館はアメリカの宣教師として日本に渡ったウィリアム・メレル・ヴォーリスの設計による建築物です。ヴォーリスは建築の専門教育を受けてはいませんが、日本に渡ってから、近江八幡で英語教師をする傍ら、もうひとつの将来の希望であった建築の勉強を始めます。

その後、建築家としてはもちろんのこと、貿易商や学校経営など多彩な顔をもって活躍し、終生愛し続けた近江八幡を初め、日本国中に多くの建築物を残します。大丸大阪心齋橋本店、同志社大学や神戸女学院大学、明治学院大学礼拝堂など、商業施設、教育施設、教会関係施設等、約1600以上にも及ぶ建築設計を行いました。

ヴォーリスは38歳のときに一柳子爵の三女と結婚し、その約20年後には日本に帰化して、一柳米来留（ひとつやなぎ・めれる）と改名します。

彼は建築設計業の他に、近江セールズ(株)（現在の近江兄弟社(株)）の創立者のひとりとして会社を興し、メ

ンソレータムの独占販売権を得、貿易商としても成功します。その後、現在の近江兄弟社高等学校を開いたり、結核療養者である近江療養院（現在のヴォーリス記念病院）をつくったりするなど、多くの活動を行いました。近江兄弟社(株)はヴォーリス没後、経営が悪化し、メンソレータムの販売権を売却しますが、現在では、同種事業をメンタームの名称で行っています。

## 3. 東華菜館について

東華菜館は当初、洋食料理店「八尾政レストラン」として大正15年に完成した、鉄筋コンクリート造5階建ての建物です。

現在はオーナーが変わり、中華料理店となっていますが、そのファサードや細かな彫刻装飾は、中華料理店となった今でも、非常にマッチしたものとなっています。



・東華菜館全景

## ○外観

入り口で出迎えてくれたのは山羊。



・正面入口上のファサード

貝のモチーフがあちこちに飛んでいます。貝の巻き具合が山羊の角っほいです。





・正面入口上のファサード。先ほどの山羊の下半分。

本当に洋食料理店から出発したのかと思うファサード。山羊の次は蝸です。



・入口上部

天井では魚が踊っています。



・入口真上の天井部

### ○待合室

入り口そばには待合室があります。小さな部屋ですが、きちんと整理されていてとてもきれいです。



・待合室

### ○1階

1階もお食事できますが、夏から秋にかけてはほとんど使いません。京都の納涼床のためです。

川床は晴れている場合は外で食事できますが、雨が降った場合は建物の中で食事することになります。そのためのスペースです。

床は少し値段がはりますが、その理由はこれです。

晴れていても雨が降っても食事ができるよう、1組の予約に対して、屋根のない床と室内の2つ分のスペースを確保する必要があるからです。



・1階の食事スペース

### ○エレベーター

今も現役で動く、手動のエレベーター。階数表示は大丸大阪本店にそっくり。ヴォーリズらしさが出ています。4階のエレベーターの階数表示は、半円が1階と反対向きでした。



・4階（上部の階数表示が1階とは半円の向きが違う）



・1階エレベーター

### ○2階

2階はすべて個室です。



・2階個室内部



こちらの部屋の壁紙は最近買ったもの。中華料理に合いますね。



・2階個室内部（壁をご覧ください）

部屋ごとに扉と腰壁の模様が違います。各々の扉と腰壁の模様は揃えてあります。

これは私たちが食事した部屋の扉の写真です。



・2階個室扉

こちらが腰壁。模様は扉と同じです。



・腰壁（扉と同じ模様）

### ○3階

3階も個室と、少し大きな広間があります。残念ながら、空調のせいで天井や壁の塗りがはげてしまうそうです。塗装は約1年半程度しかもちません。もし、塗装をしやすい壁に変えるとなれば、元々ある壁の細かい彫りを全部塗りこめてしまわねばならないとのこと。もったいなくてできない、とおっしゃっていました。

壁の彫刻。かなり細かくきれいに入っています。確かにこれを塗りこめてしまうのはもったいない。



・3階にある部屋の壁。細かい彫刻が入っている。

#### ○4階

大広間です。何名かの方はまだお食事中でした。



・4階大広間

この広間は、中華料理店としてオープンしてから中華風に飾りつけされましたが、窓枠等、随所にヴォーリズらしさが残っています。

#### ○5階

夏だけ使用するビアガーデンスペース。バーカウンターもあります。



・5階バーカウンター

#### ○屋上

ここのすばらしさは屋上にありました。

遠くからも目立つ塔があり、とても美しい建造物です。昔、ここに鐘があったのではないかと思っている、との弁はご案内くださった于さん。僕はこの建物の中でここが一番好きです、ともおっしゃっていました。



・屋上（かつては鐘があったらしい）

建物の角にある装飾。果物のオンパレード。



・屋上角の装飾

従業員専用階段の屋根上。残念ながら窓はもう開けられないそうです。無理に開けると壊れてしまうとのこと。





・屋上にある従業員用階段の屋根

ここの屋根は瓦葺き。この建物に瓦が使われているとは。実は屋上から見ると建物本体の屋根部分にも瓦がありました。



・屋根

### ○ヴォーリス設計の小物



・ベンチ



・2階にある机。これは修復を施したものの



・ついたて

ヴォーリズはドット模様や幾何学模様を好んで使ったようです。さきほどの机、戸棚、扉にも同様の模様が使われています。

### ○階段

階段の天井。細かいところまで装飾されています。



・階段の天井

この階段部分で集合写真を撮りました。古（いにしえ）のお城の中にあるようで、とても中華料理店とは思えません。



・館内での集合写真

1階の窓から見る南座。これを見ると、ああ、京都にいるんだ、と実感できます。表面がなんとなくぼこぼこした感じに見えるのは、80年前のオリジナルのガラスだからだそうです。



・東華菜館1階から南座を眺める



80年以上も経つ建築物を維持し続けるのは本当に大変なことだと思いました。しかし、それを少しずつ補修しながら長く使っていこうとするお店の姿勢には感服しました。長く使うことで愛されるという、疏水の水路閣にも通ずる精神を見た気がしました。

今回の見学会は、先人の技術、気概に触れ、またそれを後の代まで継承していこうとする人々の意思に触れることのできた、意義あるものとなりました。

参加いただいた皆さんも、とても満足して下さったようで、企画者としてもほっと胸をなでおろした次第です。

この場をお借りし、ご案内くださった疏水記念館長の井垣様、東華菜館の于様に心よりお礼申し上げます。

## 新役員

島村亜紀子さん  
～副会長～

このたび副会長を仰せつかりました島村と申します。

女性の会に参加させていただくようになってから10年を過ぎ、これまでみなさまに会の行事等でお会いするたびに、みなさまのパワーに圧倒され、そして大いなる元気をもらえたから、ここまで来ることができたのだと、心より感謝しております。副会長という立場で、そのご恩返しをできる機会にしていきたいと思っております。まずは副会長としての会長のサポートはもちろんのこと、地区、ワーキングのサポートなど会の色々な活動のサポートをしていきたいと思っております。その中で、会員のみなさまから色々な意見をいただき、それをみなさまのために、会のために役立つ方向に進めていくことのサポートをさせていただきたいと思っております。ですので、みなさま！どんなことでもかまいません、この輪を読んでいて思ったこと、行事などの活動の中で感じたこと、日々の仕事の中で生活の中で土木技術者女性の会を思い浮かべたときに思ったこと等々、色々なご意見をお聞かせ下さい。みなさまからの声をお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。



## 関西地区 活動報告 '09.2.15

関西地区 世話役補佐 村上育子



年度末の繁忙期を前に、関西地区では下記のような内容にて勉強会並びに報告会を開催致しました。

- 日 時： 2009年2月15日（日）
- 参加者： 6名（関西地区会員）
- 場 所： 鹿島建設㈱会議室
- 議事内容： 【勉強会】 『ねじりまんぼの原理』について  
【報告会】 関東地区主催「女子学生キャリアセミナー」への参加報告  
【その他】 来年度の活動及び次々回の総会についての打合せ

じつは勉強会で発表致しました 『ねじりまんぼの原理』 について が、思わぬほど好評をいただきましたので、名誉ある会誌「輪」に資料を掲載させていただくこととなりました。

まず、その資料を掲載する前に、“ねじりまんぼ”とはなんぞや？と思われる方もいらっしゃると思いますので、少しばかり概略を説明しますと…

“ねじりまんぼ”の“まんぼ”とは、鉄道線路の下をくぐるトンネル状の構造物を表す方言のひとつで、そのねじられたものを特に“ねじりまんぼ”と称しているようです。ここでいう鉄道用煉瓦構造物である“ねじりまんぼ”は、アーチ部分の煉瓦を故意にねじって積む独特の技法を用いたトンネルで、このような構造を持つアーチ橋は、関西地方を中心として全国各地に散在し、なかにはコンクリートブロック造のものも含まれるそうです。年代的には、明治初期～大正時代の構造物に見ることができ、煉瓦積みの技術とともに存在した技法であると考えられているそうです。

※ 詳細は、関西地区・牛山世話役補佐の「琵琶湖疏水見学会報告～土木遺産をたずねて～」をご覧ください。

以下、その説明資料となりますが、決して難しい内容ではございませんので、どうぞお気軽な気持ちで読んでいただければ幸いです。

## 『ねじりまんぼの原理』について

### ■はじめに

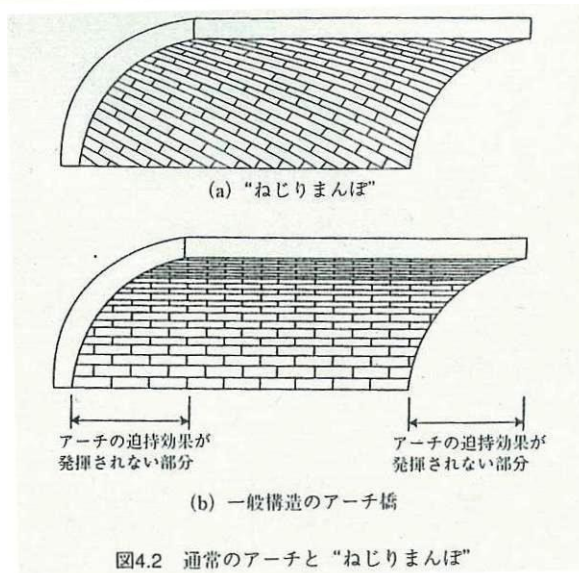
2008年10月18日（土）に関西地区主催の『琵琶湖疎水・疏水記念館 現地見学会』が開催されました。疏水記念館の館内を見学後、世話役補佐の牛山さんによる懇切丁寧なガイドを拝聴しながら疏水記念館～南禅寺・水路閣～田辺朔郎像～インクラインを徒歩で散策しました。その際にインクラインの高架下で「ねじりまんぼ」について牛山さんよりご説明いただきましたが、その「ねじりまんぼ」の説明用資料として持参された文献に掲載されていた原理等について（下記の下線部分を参照）、その文章の意味が理解できないっ！ということから、私に白羽の矢が立ち「ねじりまんぼの原理」について謎を解く宿題をいただくことになりました。

### ★問題の文章★

#### (2) “ねじりまんぼ”の原理

既存の文献から“ねじりまんぼ”の原理や技法について要約すると、おおむね下記のようにまとめることができる。

図4.2は、“ねじりまんぼ”で斜めアーチ橋を施工した場合と、通常の積み方で斜めアーチ橋を施工した場合との比較を模式的に示したもので、前者ではアーチの軸力（接線方向応力）が両側の橋台（側壁）部分に伝達されるが、後者では坑口付近で軸力が片側の橋台にしか伝達されず、強度上極めて脆弱な構造となってしまうことが理解できる。そこで、アーチ全体の軸力を橋台へ有効に伝達させる方法のひとつとして、アーチ橋の交差角に合わせて煉瓦を斜めに積む方法が工夫されるにいたったものと考えられる。



「鉄道と煉瓦～その歴史とデザイン～」小野田滋著 鹿島出版会 から抜粋

★実際のねじりまんぼの写真★



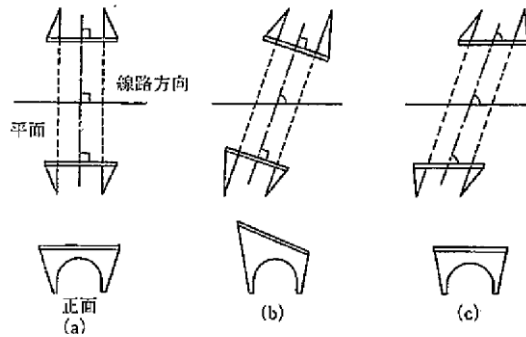
撮影者：設計課長

さっそく難問を解くべく、当社の設計課に属する長に「誰にでも理解できる説明資料」の作成を依頼し、完成した資料が次頁となります。

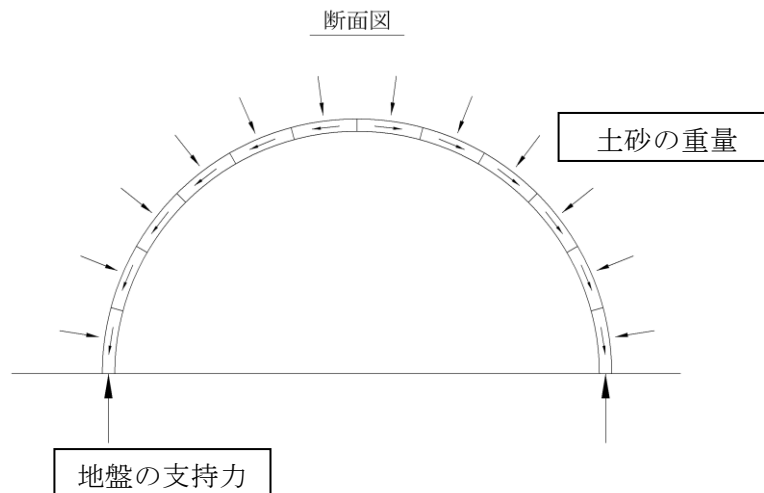


■ねじりまんぼの原理

“ねじりまんぼ”はその上の河川や道路との交差角が直角でない場合に有利な構造であり、直角の場合は“ねじりまんぼ”にする必要がありません。



レンガを安定した形に積み上げるための原理はアーチ構造です。これはトンネル上部の土の重量を、レンガが噛み合っ崩れずに下の地盤に伝達するという原理です。(下図)

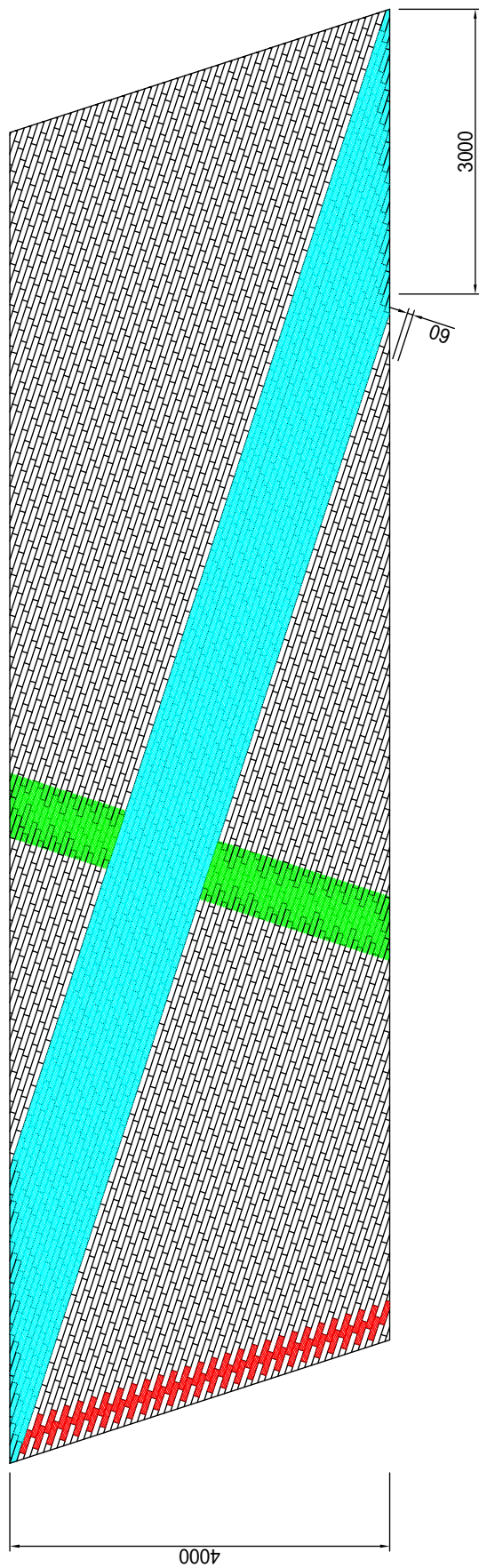


実際の琵琶湖疏水のレンガの積み上げ方の展開図はおおよそ次頁の図-①の通りです。これは「鉄道と煉瓦」図 4.2(a)に相当します。この場合、坑口付近はレンガが斜めにきちんと組み合わせりアーチが形成されています。(赤色の帯)これが坑口の安定に大きな役割を果たしています。

また展開図の対角線方向にも大きなアーチが形成されています。(青色の帯)さらに大きなアーチに直行するようなアーチも形成されています。(緑色の帯)これらの3方向のアーチの効果で“ねじりまんぼ”は安定します。

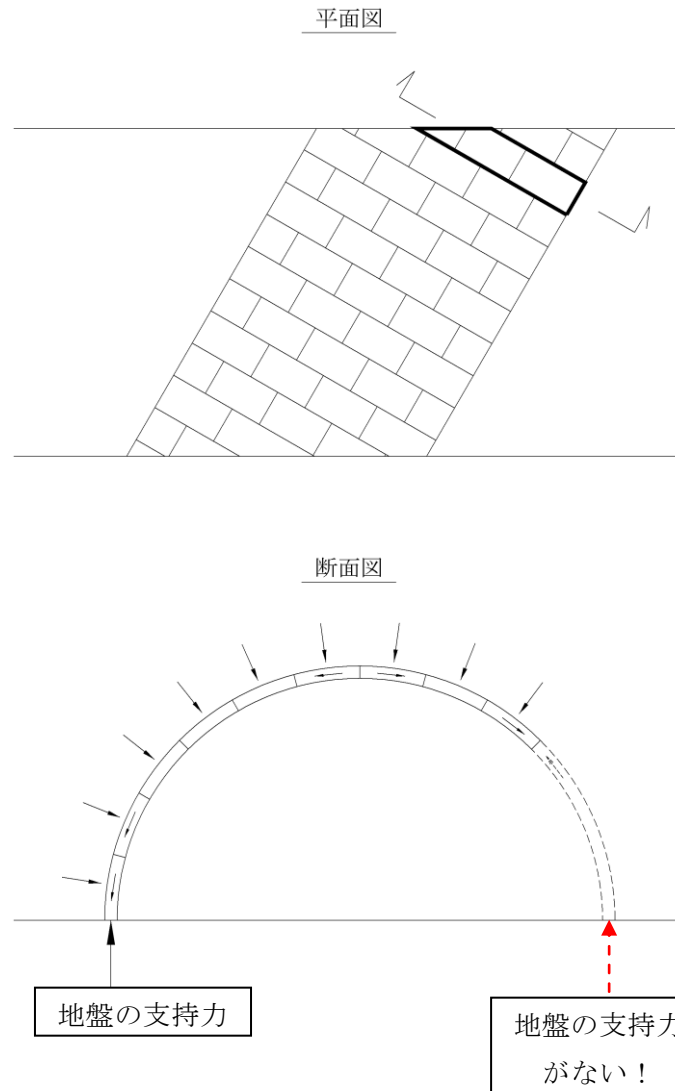
よって「アーチの軸力が両側の橋台部分に伝達される」ということになります。

図 - 琵琶湖疏水実際の配置パターン展開図



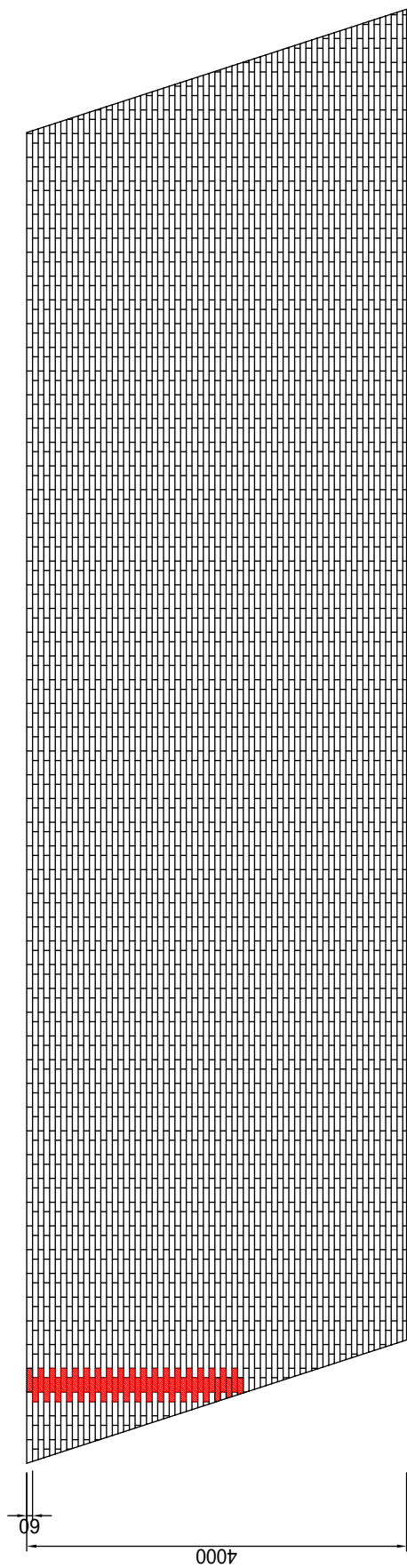
一方、図 4.2(b)のパターンで同じ琵琶湖疏水の場合に積み上げた展開図が次頁の図-②です。坑口付近ではアーチが形成されていません。断面では下図のようになり、トンネルの周りの土砂の重量が支えられていないことがわかります。

地盤の支持力



以上のことから、「坑口付近で軸力が片側の橋台にしか伝達されず、強度上極めて脆弱な構造となってしまう」のです。

図 - 実際にはないの配置パターン展開図





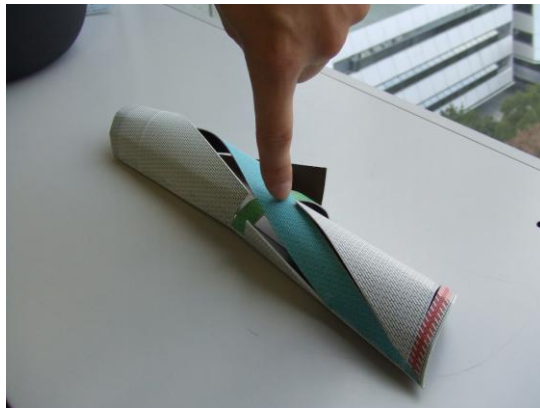
## ■おわりに

問題の文章につきまして図解等で説明させていただきましたが、ご理解いただけましたでしょうか？原理そのものについて、深く掘り下げていくとかなり難しい話となるようです。

また彼は説明資料を作成するにあたり、この資料だけでは不足なら・・・ということで秘密兵器まで作成していたようです。しかしお互いの業務が立て込み、その秘密兵器は披露されることなくタイムリミットを向えてしまいました。そして勉強会当日・・・その秘密兵器の存在について私がポロッと口を滑らせたことから、参加者の皆さんからは「見たい！」という熱い要望をいただき、翌日写真にてお披露目をさせていただきました。

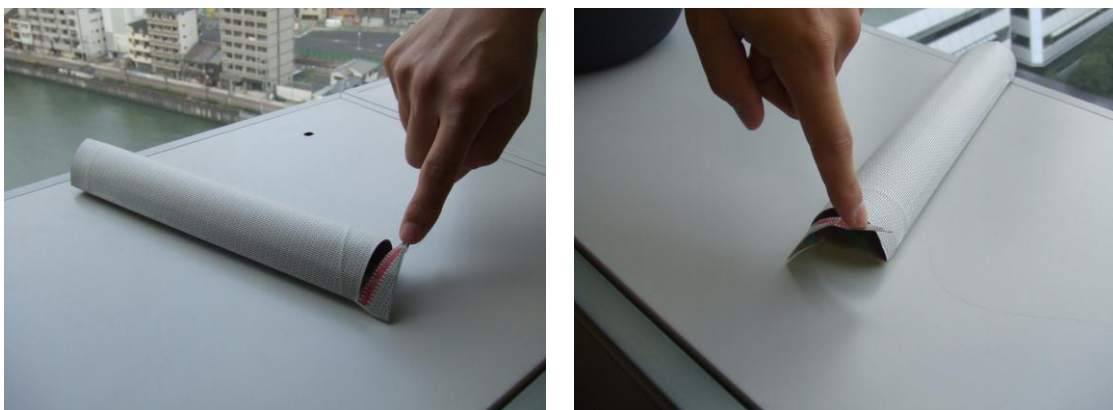
じつは秘密兵器といいますが、資料の図一①と②を模型にしたものなのですが・・・もう皆さんはお分かりですよね？ これにて、ねじりまんぼの謎解きは幕を閉じることに致します！

### ★THE 秘密兵器★



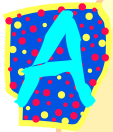
図一①を模型化したもの（ねじりまんぼ）

緑色の帯と青色の帯が交差することによって土圧を受け、両側の橋台部分に軸力が伝達されていることが解ります。



図一②を模型化したもの（通常レンガの積み方）

坑口付近では、片側の橋台部分にしか軸力が伝達されていないことが解ります。（赤色の帯の部分）



## 新役員

牛山育子さん  
～企画 WG リーダー～



企画 WG リーダーに就任しました関西地区の牛山です。

企画 WG は、「土木技術者女性の会」の中期的・長期的なビジョンを作成するため、新たに立ち上げました。

ここでは、「女性の会」を今後どうすべきかを議論していきます。

今後 5 年間、女性の会は何をすべきか？ 10 年後、女性の会はどうあるべきか？ もっと先、この会自体がなくなる、というのが本来の目指す方向では？ などなど、考えることはいっぱいあります。

私は、遠い将来、「女性の会」というのがなくなるのが理想だと思っていますが、「男女協働参画社会」という言葉が死語になるくらいでないと、この会が美しく消滅していくのは難しいのかなあ、とも考えています。

ただ、現時点では必要な会だと思っています。

大学の先生は未だに女子学生の就職に関する情報がなく、と言って困っている。これでは就職する学生はもっと困ってしまいます。私たち女性の会は、そういった情報を提供できるだけでも、十分活動の価値はあるし、もっと情報発信していかなければならないでしょう。

それに何より、全国にまでひろがったネットワーク。これは継続しないとったいない。会員のみなぎるパワーを感じられるだけでも、働く私たちの大きな活力になります（これは総会に参加された方には十分お分かりいただけると思います。今年の総会で、感動のあまり涙を流された新入会員さんもおられましたしね！）。

企画 WG では、まず、中長期計画を立てることが目標です。会の将来について、興味のある方は是非ご参加ください。一緒に将来像について話し合しましょう。

現在メンバーは私を含め 3 人。皆さんからのご参加お待ちしております。

## メールニュースより



2009年2月号

### 「私の好きな時間」

三好葉子（みよし ようこ）

今、私が一番好きで大切にしている時間は、娘と過ごす時間です。

私の片想いだと悲しいので、念のため本人に確認したのですが、「おかあの考えていることだいたい分かるし、こっちのことも分かってくれる。気い遣わんくっていいから、話したり一緒に出かけたりするののがホンマにラクちん。だから、こっちも楽しいよ。オモロイし。」とのこと。ヨカッタ。（ついでに、「オカアサン、ダイスキ」まで言わせちゃいました。）

本来は友だちだけで出かけるのが楽しくなり始める時期なはず。親は見向きもされなくなる頃なのに…友だちおれへんのかいな？ 面倒な友人関係の構築から逃避している？、と、少し心配になったりもしますが、学校のこともとても楽しそうに話しているし、友人の名前も男女問わずたくさん出てくるし。ならば、今は余計な心配はすまい。相手をしてもらえているうちに少しでも私も楽しんでおくべく、時間があれば二人で「べったり」しています。

USJに遊びに行ったり、夜行バスで東京ディズニーリゾートまで繰り出したり。楽しい事は、ほぼ、女二人で行動。雑貨や服を見て回ったり。デパ地下でスイーツを選んだり。こういった場面では「お父さん」の入り込む余地はありません。申し訳なく思うこともあるのですが、実は普段接している時間は父娘の方が圧倒的に長いので、これで案外バランスがとれているのかもしれませんが。

自分が子どもの頃の親との距離感とは全然違う感じがします。時代とともに、親が子どもっぽくなり、子どもは大人っぽくなってきているのでしょうね。その感覚についつい甘えてしまって、娘の悩みを聞くよりは自分がいろいろと愚痴っていることの方が多いかも。学校の先生が、「友人の話に忍耐強く聞いてあげることができるお子さんです」、と誉めてくれていたから、私との関係も一応教育になっているということにしておきたいと思います。

昨年発行の「輪」で「巻頭言」を書かせていただき、その際はまだパンフレットを眺めるような気楽さで未来に想いを馳せている…という状態でしたが、あれから一年半。今ちょうど、娘は「高校入試」という未来への壁に立ち向かっている真っ最中です。塾に行かない娘から家庭教師役を仰せつかった私は、毎晩残業後数学、理科の解説や様々な暗記モノに取り組む日々。正直、身体も頭もキツイ。でも、せつかく必要としてくれている時…娘の大事な時間を一緒に過ごすことができることを大切にしたい、私も頑張りたいと思います。あとひと踏ん張り！





2009 年4月号

## 「私の好きな時間」

龍 尊子（りょう たかこ）

私の好きな時間について、「龍さんの趣味のスキーネタで書いてみてはいかがですか？」とのお話をいただいた。軽く受けてしまったが、今となっては果たして、私にとって本当に好きな時間だろうか。

まず、スキーシーズンになると家が荒れる。スキーシーズンでなくとも、普段から十分荒れている。それが土日にもいないものだから、なおひどくなる。スキーウェアやゴーグル・手袋などは、常時取り出せるように衣装ケースごと寝室においてある。スキーブーツも廊下においてある。スキー板は、GS用、SL用が夫と私とそれぞれ1、2本。娘の板もあるので、常時5、6本が、書斎のはずのチェーンナップルームに置いてある。こうして、シーズン中はスキーの道具に埋もれて過ごすのである。

それだけではない。危険なのだ。レースが危険なのではない。前述のチェーンナップルームも危険の一因だ。チェーンナップルームというのだから、シーズン中はエッジを研いだり、板にワックスを塗ったりしている。床に落ちたワックスがスリッパの裏につくと、とんでもなくよく滑る。部屋には床に養生シート（レジャーシート）を敷き、専用のスリッパを使っているが、それでもたまに廊下がツルツルになっている。先日も廊下のちょうど曲がり角がツルツルで、尻もちをつくほどの大転倒をして、しばらくお尻が痛かった。青あざができていたに違いない。スキーで転倒して怪我をするのは嫌だが、それはそれでしょうがない。レースをしていればそういうこともあるだろう。しかし、雪も無いところで、しかもシーズン中に怪我をするのはなんとも不本意だ。



けれど、と思う。それにしても、何故スキーを、レースをしているのか。大自然の中で、風を切って滑る快感。それを分かち合う仲間がいて、スキー話を肴に酌み交わすお酒の美味しさ。冷えた体を熱い湯船に横たえたときの安堵。何よりもレース特有のあのスタートの瞬間。そのコースを滑るのは自分だけ、自分を出し切って滑ることが出来るかどうか自分次第という、なんともいえない緊張感。怖いと思いつつ、ワクワク、ドキドキするあの瞬間。1分足らずのレースであの気持ちをまた味わいたくて、次のシーズンが来るのが待ち遠しい。

ある人が言っていた。「仕事が忙しくても、何か悩みを抱えていても、今ここで滑っている瞬間はどれも忘れてしまうでしょう。」

そうなのだ。だから、この時間がたまらないのだ。

この原稿のメ切も、すっかり忘れていた。



2009 年6月号

## 「空を見上げること」

島村亜紀子（しまむら あきこ）

忙しくて疲れて、もうだめと思ったときでも、空を見上げると、すうっと気持ちが穏やかになる。空は色々な表情を持っている。さまざまな光、雲、雨、風、月や星、そして季節をも感じることができる。晴れ渡った青空はもちろんとてすばらしい。現場で朝起きたとき晴れているとほっとする。もっぱら暑さに弱い私は、暑い所にいるときは雲が出てくれることが嬉しいこともある。雨の日の後には、植物の茎や葉がひと際伸びたように思えて、雨は大地の恵みなのだなぁと感謝の気持ちを持つたりもする。月が明るい夜には、月明かりの影が出来ていることに感動する。月の暗い空のときには、たくさんの星が見える。

中でも一番好きなのは明るい月夜の空。山の現場に勤務していたときのことである。雪の足音が聞こえてくる秋の終わり、現場は工程とのにらめっこになり、次第に終業が遅くなり、日が沈むのが早くなるのも手伝って、暗くなってもライトをつけての作業を行うようになった。山の中の暗闇の中で、作業を行っている場所だけが、煌々と照らされ、その光の中で機械がうなっている。みんな必死で、自分の作業に取り組んでいる。やっとその作業が終わり、機械を止め、見回りをし、ライトの光を落とす。一瞬で静寂と暗闇に包まれ、懐中電灯の光を頼りに足元を確認しながら歩き出すと、機械や周りの木々のくっきりとした影が目に入る。ライトに照らされていた自分たちの作業空間以外のことをすっかり忘れていたが、空をみあげるとまぶしいと思うほどの月が私たちに照らしてくれていた。それこそ懐中電灯がいらないくらいに。月の明るさに改めて驚き、感動し、自然に助けられながら、自然と共生しながら、日々の仕事ができていることをとても嬉しく思った。

星は都会では見える数が圧倒的に減ってしまうが、月の明るさはどこでも同じようで、東京本社に勤務していても、月の影をみることができる。仕事が終わって疲れ切って、下を向いて歩き出したと



き、影に気付いて空を見上げると、明るい月が照らしてくれている。その光に癒されて、明日もがんばろう！と思うのである。



## 新役員

橋本麻未さん

～就職支援 WG リーダー～



この度、就職支援 WG リーダーとなりました、橋本麻未と申します。鹿島建設に入社して4年目のぴちぴち・ピヨピヨです。

就職支援 WG は、去年度の広報企画 WG から分離したもので、旧 WG の流れを受け、「Civil Engineer への扉」販売をメインに、女子学生への就職支援を目的とした WG です。できるだけ多くの悩める女子学生の味方になれるよう、気軽にご意見やご参加をいただくと幸いです。

至らないたくさんの点は皆様に助けいただきながら、役員の中で最も若いことを活かして新しい風をちょびっとでも吹き込めれば、と考えております。どうぞよろしくお願い致します。





2009 年8月号

## 「私の好きな場所」

畠中 千野（はたけなか ちの）

私の好きな場所～それは、私の地元「福岡」です。

地元を離れて10年以上経ちますが、帰省する度に街がどんどん変わっています。キャナルシティ、福岡ドーム、福岡タワー、博多リバレイン、博多座（歌舞伎）・・・私もそうですが、新しいモノ大好きな福岡人にとって、次々と新しいモノができて、観光地としても賑わい、福岡の街は刺激的で楽しい場所だと思います。しかし、日々変わっていく街中にも、ずっと変わらないモノもあります。そのひとつに、夏を告げるお祭り「博多祇園山笠（はかたぎおんやまかさ）」があります。

このお祭りは、「博多どんたく」と並んで、福岡（博多）を代表するお祭りです。私の実家は「福岡地区」にあるので、お祭りといえば、「博多どんたく」がメインなのですが、「博多地区」のお祭り「山笠」には、憧れと、「これこそが福岡の伝統のお祭りだ」という思いがあります（地元では、博多と福岡の区別がきっちりあり、さらに女人禁制のお祭りなので余計そう思うのでしょうか・・・）。

山笠は7月1日から「飾り山」とよばれる山（ヤマ・神輿のようなもの）が一般公開され、7月15日の「追い山」とよばれる櫛田神社奉納（午前4時59分、一番山スタート）まで、街は山笠一色となります。街の要所には、高さ15mほどに達する非常に迫力のある巨大な「飾り山」が飾られます。「飾り山」の前には、椅子も並び、座ってゆっくり、じっくり、山を楽しめます。一日中座ってじっと見ているお年寄りの方や、休みの日には子供たちがスケッチをしたり、それぞれの楽しみ方でお祭りが盛り上がっていきます。お祭り期間中、山笠関係者は、法被に締め込み、足元は地下足袋を履き、あるいは長法被に下駄か雪駄、という姿で過ごします。街を歩くのもこの姿、山笠終了までは正装とされ、結婚式などの公式の場に出るのも許されます。着飾った人でにぎわう街に、高級一流ホテルに、百貨店に、締め込み姿の男性が違和感なく居る姿は、私の好きな福岡の風景のひとつです。街でこの姿を見かけると、「夏がきた」と感じ、なんだかワクワクしてきます。山笠（やまかさ 山・ヤマ）に熱中する男性のことを「山のぼせ」又は「のぼせもん」といいます。7月上旬は、やまのぼせたちで街は熱く燃え上がります。700年もつづく伝統を守りつづけている古きよき街と、年々新しいもの採り入れている街が、違和感なく同じ空間に存在していることを実感するのも、この時期のこの場所だと思います。

今年の山笠は終わりましたが、わが街福岡には、まだまだたくさんいいところがあります。今年の土木学会は福岡で開催されます。学会にいかれる方は、ぜひ福岡を堪能してください。

## 新役員

須田久美子さん

～坑内労働規制緩和 WG リーダー～



皆さんこんにちは。今年度から、所さんの後任として坑内労働規制緩和WGリーダーを勤めさせていただくことになりました須田久美子です。よろしくお願いします。

2007年4月から女性の坑内労働に関する規制が大幅に緩和されて法整備が進んだとはいえ、総会資料の別冊資料としてとりまとめましたアンケート調査の結果をご覧くださいてもわかるように、女性技術者が希望通りにトンネル現場に配属になる時代を迎えるには、会としていろいろと働きかけをしていく必要を感じています。

細々ながらも効果的な活動を模索していきたいと思いますので、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 新役員

佐藤厚子

～編集長・北海道地区世話役～



今年から、北海道地区世話役と輪の編集を担当することになりました。北海道地区では、今子育て真っ最中の人がたくさんいて、いろいろ悩みながら生活していると思います。何とか話ができる場となればいいなと思います。

また、編集の担当は初めてです。いつも楽しく読んでいました。編集関係の才能はあるとは思えませんので、皆様どうぞ手助けしてください。こんなことがあったんだよとか、こんなテーマがあったらいいなとかありましたら、ぜひご連絡ください。お待ちしております。

# ホームページ運用WG 活動報告

ホームページ運用WGリーダー 岩本理恵

## ◎活動の目的

会の PR、会の活性化、事務処理の簡略化等に活用できるホームページの構築と運用を目的としています。HP 上で会員情報の更新や入会申込みの受付ができるようになり、事務処理の簡略化についてはシステムがほぼ完了している状態です。現在ではコンテンツの充実を重点的に行っています。

以下のメンバーで活動しています。

岩本理恵 (リーダー)	須田久美子	佐藤亜紀子
松本香澄	田中真弓	

## ◎平成 20 年度活動報告

メンバーが集まったの打合せを 1 回行い、後はメールリングリストを使っての作業です。

日常的には、地区活動報告、新入会員紹介、会誌「輪」、役員名簿等の掲載する情報が入り次第、HP 更新を行いました。

大きなHPの更新としては、トップページのリニューアルです。会の活動内容がイメージできるような写真の掲載や総会開催情報、その他最新情報を掲載する欄を設けました。

- ◆ リニューアル後のトップページ <http://womencivilengineers.com/>

**土木技術者女性の会**  
The Society of Women Civil Engineers

最終更新日 2009/3/4

**土木技術者女性の会とは**

主な活動内容

地区活動紹介

入会案内

就職支援パンフレット紹介

会員ページ

プライバシーポリシー

**お問い合わせ**  
webmaster@womencivilengineers.com  
(学生会員専用)  
gakusei-info@womencivilengineers.com

当サイトは、プライバシー保護のため、SSL暗号化通信を導入しています。

**総会情報**  
第27回総会(終了しました)  
開催日:2008年6月27日(金)28日(土)  
開催地区:北海道(札幌)

**お知らせ**  
第28回総会  
開催日:2009年6月26日(金)27日(土)  
開催地区:中部(名古屋)

**会誌「輪」**  
最新号:第47号 会員ページにて配信

土木技術者女性の会は、土木学会誌(昭和57年9月号)紙上で企画された「女性土木技術者の座談会」がきっかけで昭和58年1月に発足しました。「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を...」ということで同誌紙上で呼びかけ、約30名でスタートしました。...and more

**最新情報**

2009.3.4 役員名簿を掲載しました。

2009.2.17 関東地区新年会報告を追加しました。2月7日に行われた新年会の報告です。

2009.2.17 会誌「輪」第47号を掲載しました。(会員ページ) 今号は昨年6月に開催された総会を特集しています。

2009.2.17 新入会員紹介に2名追加しました。(会員ページ)

2008.12.25 関西地区疏水記念館現地見学会報告を追加しました。10月18日(土)に行われた見学会の報告です。

2008.12.25 新入会員紹介に1名追加しました。(会員ページ)

2008.12.5 関東地区「女子学生向けキャリアセミナー」ご案内(終了しました)

**就職支援パンフレット紹介**  
「Civil Engineerへの扉」2006年版



## ◎平成 21 年度活動計画

昨年に引き続き、日常的なHP更新を行うとともに、コンテンツ拡充へ向けて活動を行います。また、今年度は携帯版HPの要望がありましたので、現在、公開へ向けてその構想を練っているところです。

## ◎情報の受取からHP掲載まで

見学会や勉強会等の開催案内や活動報告等、HPへ掲載してほしい情報がある場合の情報受取から掲載までの流れは大体以下のとおりです。受取から掲載まで1週間程度を目安としてください。

掲載情報をPDFファイルにして送付（PDF作成の環境がない方はご相談ください）  
※その他、関連資料、画像ファイルがあれば一緒に送ってください。

↓ 送付先 HP運用WG 岩本 (yrw03112@nifty.com)

HP運用WG  
受け取ったファイルの内容を確認後、HP更新作業。

↓  
新着情報、地区活動紹介ページにPDFファイルをリンクさせて掲載  
(会員のみ周知したい場合は、会員ページへリンクさせる)  
※見学会等の開催案内の場合など、必要であれば専用ページを作成することもいたします。

### 写真&メンバー募集

過去に行われた総会や地区活動の写真をお持ちの方はいませんか？  
HPの会の歩みや地区活動報告、会員ページでの利用を考えています。  
お持ちの方は、以下のいずれかの方法で下記送付先までお願いいたします。

① 写真データを添付してメールで送る。

② プリントした写真を郵送する。(データ化の後、返却いたします)

※分かる範囲でよいので、撮影時の状況と日付を明記してください。

HP作成に興味のある方、随時募集しています。下記までご連絡ください。

送付先・連絡先

岩本理恵 yrw03112@nifty.com

(株)CTIサイエンスシステム

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1-3 日本橋ニシキビル7F

# 広報企画WG 平成 20 年度活動報告

広報企画WG リーダー 須田久美子

## 活動の概要

広報企画WGは、「会の発足から 25 年が経過し、女性技術者の土木業界への進出も進みつつある中で、多くの女子学生が女性技術者の情報を把握することが困難であるという現状に鑑み、短期的・中長期的観点から会の対外的活動の方向性を検討し、今後の会の活動方針を模索する。」という目的を掲げ、平成 18 年度に発足し、3 年間の活動を行って参りました。特に、短期的には女子学生の職業選択・就職支援に重点をおいた広報企画の試運用、中長期的には会の再構築を視野に置いたシナリオ案の検討を行いました。その結果、「Civil Engineer への扉」生協販売の試行を行い、会の再構築シナリオたたき台を作成することができました。

ここでは、三年間の活動内容を紹介します。

## メンバー

	氏名	役割分担	活動期間		
			H18	H19	H20
リーダー	須田 久美子		○	○	○
	牛山 育子	再構築シナリオ案	○	○	○
	岡村 美好	山梨大学生協担当、出版物関係	○	○	○
	橋本 芳	東京大学生協担当	—	○	○
	山田 菊子	再構築シナリオ案	○	○	○
	佐藤 亜紀子	学生会員関係	—	○	○
	染谷 麻優子	埼玉大学生協担当	—	○	○
	竹之内 綾子	東京工業大学生協担当	—	○	○
	橋本 麻未	京都大学生協担当	—	○	○
	松本 香澄	再構築シナリオ案	○	○	○
	小畑 敏子	大学生協担当	—	—	○
オブザーバー	岩本 理恵	ホームページ運用WG リーダー	—	○	○

## 活動スケジュール

- ① 平成 18 年 7 月 12 日 (水) キックオフミーティング
- ② 平成 18 年 11 月 29 日 (水) 鹿島出版会との出版企画打合せ
- ③ 平成 18 年 1 月 17 日 (水) 学生会員、「Civil Engineer への扉」生協販売に関する打合せ
- ④ 平成 19 年 7 月 メールによる活動計画の周知
- ⑤ 平成 19 年 7～12 月 学生会員新設に伴う会員管理システム更新、学生会員募集方法の検討
- ⑥ 平成 20 年 3 月 「Civil Engineer への扉」2006 年版の増刷 (2,000 部)
- ⑦ 平成 20 年 4、5 月 大学生協へのヒヤリング
- ⑧ 平成 20 年 9 月 13 日 (土) WG 打合せ (全員)
- ⑨ 平成 20 年 4 月から随時 大学生協販売の試行

⑩ 平成 21 年 3 月 再構築シナリオたたき台の作成

活動成果

(1) 「Civil Engineer への扉」生協販売に関する各大学生協との交渉、販売試行

大学名	担当	販売方法	冊数	生協での販売価格	会から生協への販売価格	送料の負担	交渉状況
山梨大学	岡村	委託販売	20冊	450円/冊	400円/冊	会	3冊販売、振込みはGW明け
埼玉大学	染谷	委託販売	20冊	450円/冊	400円/冊	会	
名古屋大学	小畑						販売交渉成立
東京大学	橋本(芳)						
東京工業大学	竹之内						
京都大学	橋本(麻)						
弘前大学	小畑						販売交渉不成立

(2) 再構築シナリオの検討

会の発足からすでに 25 年以上が経過し、会員の意識も、また会を取り巻く社会経済状況も大きく変化してきています。そこで、改めて、当会の意義・方向性を明確にし、会員及び外部にわかりやすく示していく必要があるのではないかと認識に立ち、WG 全体での打合せ結果を踏まえ、当会の方向性を議論していくためのたたき台（次ページ）を作成しました。

土木技術者女性の会の今後の方向について（提案）

2009.03.31  
広報企画WG

■背景

- ・会の発足後20年を経過し、土木学会、土木・建設業界や、社会からの会への期待も拡大すると共に、内容が変容している。
- ・会員数は150名前後で安定してきており、会としての組織体の確立・財政基盤の確保という一定の目的は達したと考えられる。
- ・そこで、現時点で改めて、会の存在意義を再考し、今後の方向性について確認する必要があると考えた。

【当会の目的】

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

■現状

・社会においては、依然として、女性土木技術者の占める割合が少ない。会のネットワークを必要としている女性土木技術者はたくさんいる。  
(⇒当会の目的3)

・坑内労働規制緩和へのイニシアティブ、土木学会におけるダイバーシティ推進の一環としての男女共同参画への取り組み(理事等への人材確保を含む)等、期待は大きい。  
(⇒当会の目的4)

・これから土木技術者を目指す女子学生に対して提供できる情報源も非常に少ない。これは、就職相談を受ける大学等の教員に対しても同じことが言え、会が情報提供の一翼を担うことで、一定の役割を果たすことは可能である。  
(⇒当会の目的5)

■基本方針(案)

- ・将来は当会が不要となる時代が理想だが、現時点ではまだ当会の存在は必要であり、積極的に活動を継続する。
- ・土木技術者に占める女性の割合の増加をめざし、引き続き、PR・ネットワーク活動に力を入れる
- ・未来を支える女子学生の職業選択・就職支援に力を入れる。(第二新卒・転職も同様・関係者への働きかけを含む)
- ・他の組織等による活動との連携を活用するとともに、当会は女性土木技術者のための組織として継続する)

■活動方針(案)

長期方針(2015目途)	中期方針(2009~14)	当面の活動	具体的方策
多様な人材が働く社会の実現 (ダイバーシティ推進の一環) ↓ 土木技術者に占める女性の割合の増加を目指す (割合増加⇒発言力を持つ・世の中を変える力を蓄える) ※女性割合が〇〇%を越えた時点で、会の存続の必要性や会の目的を再検討する。	・女性土木技術者の存在をさらに社会にPRする。 ・女性土木技術者のネットワークを確立し、さらに拡大する。 ・今後、土木分野へ参入する女性学生への職業選択・進路選択を積極的に支援する。	・HPを女性土木技術者のポータルサイトとして活用(情報発信・ネットワーク) ・就職支援パンフ等印刷物を活用し、PR活動を進める。 ・会内外部向けの活動・イベント等の実施により、外部関係機関との連携を実現する。	・HP運用WG (ネットワーク活動に繋げたい) ・就職支援パンフ販売促進WG (就職支援業務も含む) ・30周年記念イベント ・倫理規定WG ・坑内労働WG……

■将来に向けての課題・・・活動の絞込み・Mission Statementの明確化・・・地区活動の活発化・活動参加会員の増加

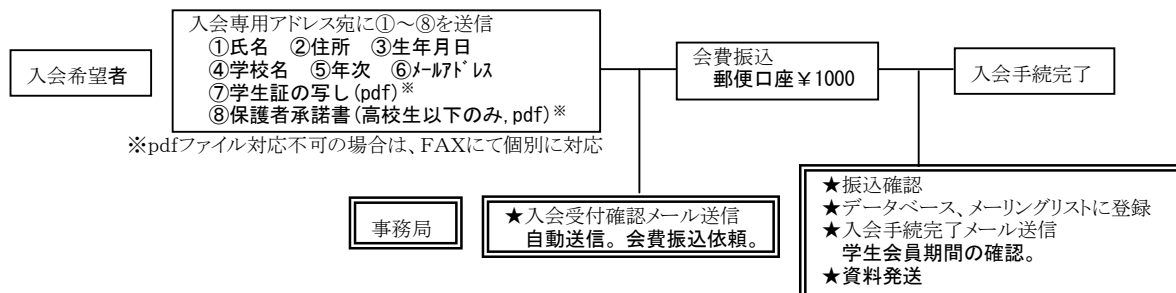
(3) 学生会員の新設

ウェブや「Civil Engineer への扉」の注文を通して女子学生から次のような依頼、要望をいただきました。



- ・ 女性技術者の生の声を聞く機会が欲しい(大学生)。
- ・ 結婚、出産などどのように乗り越えているか具体的に知りたい(大学生、社会人)。
- ・ 職業選択の段階(中学生)で、土木の仕事の内容を知りたい。

一方、地区活動では学生との交流の機会を積極的に持ちたいという観点から、より効率的な通信手段の確保が望まれていました。そこで、平成 19 年に、役員会、総会の承認を得て学生会員を新設しました。



#### (4) 外部の出版企画、編集企画への協力

鹿島出版会の出版企画、(財)建設業振興基金「建設業しんこう」5～6月号他の雑誌編集企画に協力し、女性土木技術者の活躍を広く一般に伝える方法を模索しました。

#### (5) 内閣府チャレンジキャンペーンへの共催団体登録

内閣府男女共同参画局では、女子高校生、女子学生を対象に、将来の自分を明確にイメージして、進学や就職などの進路選択(チャレンジ)ができるような支援策の一環として「チャレンジキャンペーン」を行っており、特に平成18年度は理工系分野を中心に共催団体、協力団体の募集がありました。土木技術者女性の会では、現場見学会や勉強会、「Civil Engineer への扉」の販売、各大学等のキャリアアップセミナーなどへの講師派遣などを行っており、内閣府の趣旨とも合致することから、「チャレンジキャンペーン」共催団体として登録し、現在も継続中です。

- ◆ 内閣府男女共同参画局のホームページ <http://www.gender.go.jp/>
- ◆ 土木技術者女性の会のページ <http://www.gender.go.jp/c-challenge/kyousai/josei/002.html>

### 今後の進め方

生協販売の運用方法が具体化したこと、および再構築シナリオのたたき台を作成できたことを踏まえ、広報企画WGとしての活動は平成20年度で終了いたしました。平成21年度からは、就職支援WGと企画WGの二つを新規に立ち上げて、発展的に進めることといたしました。

#### (1) 就職支援WG

「Civil Engineer への扉」の生協販売については、運用方法が具体化したとは言え、まだまだ試行の段階であり、問題点や課題を整理して、運用方法を改善していく必要があります。また、中学生や高校生に会の情報を伝えるための有効な方法を幅広く模索する必要があります。そこで、就職支援WGとして独立したワーキングを新たに立ち上げて検討することとしました。

#### (2) 企画WG

再構築シナリオについてはたたき台の作成をおこなって、一応の成果をあげることができました。今後は、再構築シナリオのたたき台をもとに、会の新たな方向性を会員および外部に発信していくためにさらにブラッシュアップしていく必要があります。そこで、企画WGとして独立したワーキングを新たに立ち上げて検討することとしました。

## 【事務局便り】事務局関係メンバーの紹介

本年度より新たなメンバーも加わりました。それぞれのメンバーが担当する主な業務をご紹介します。

<p>事務局 長 笹尾 圭哉子 (ささお かやこ)</p> 	<p>事務局長になって早 2 年、相変わらずメンバーに助けをもらいながら、楽しく事務局を運営しています。今後は外へ向けての発信に力を入れていくこととなります。広報を担う事務局の仕事も重要性を増していくことと思います。ますます力をあわせて頑張っていきましょう！</p>	<p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①役員会・総会関係(役員名簿管理)</li> <li>②HP関係(事務作業効率化の検討)</li> <li>③メールニュース作成・発信</li> <li>④広報関係(プレス対応等連絡窓口)</li> </ul>
<p>事務局スタッフ 時弘 みどり (ときひろ みどり)</p> 	<p>7月から8月にかけて、勤続 20 年の特別休暇を頂き、チェコ、ハンガリー、ポーランドに行きました。とても素晴らしい景色に加え、チェコはビールの産地です。いい旅になりました。写真の背景はドナウ川です。</p>	<p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①役員会・総会関係(総会資料作成依頼・収集、役員会資料作成、総会議事録確認)</li> <li>②HP関係(コンテンツ見直し)</li> <li>③メールニュースへの情報掲載</li> </ul>
<p>事務局スタッフ 佐藤 亜紀子 (さとう あきこ)</p> 	<p>皆さまご存知の通り当会では、年会費の自動払込を導入しています。これまで、44 名の方に手続きをして頂きました。ご協力感謝します！年会費に係わる事務は大変労力がかかります。自動払込の手続きはとても簡単ですので、多くの皆さまのご協力をお願いします。</p>	<p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会員情報管理(名簿管理、入退会手続、会費請求、会員情報管理)</li> <li>②役員会・総会関係(事務局会計)</li> <li>③会誌関係(事務局原稿作成)</li> <li>④HP関係(システム管理、事務局窓口)</li> </ul>
<p>事務局スタッフ 龍 尊子 (りょう たかこ)</p> 	<p>事務局に入って2年が過ぎました。引き続き、皆さんのお役に立てるよう努めて参りたいと思います。今後も、土木学会・土木技術映像委員会からの上映案内等もお送りしますので、こちらも併せてよろしくお願ひします。</p>	<p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①役員会・総会関係(役員会日程調整・会場選定・役員会議事録作成・総会資料印刷発送)</li> <li>②会誌関係(総会議事録原稿作成)</li> <li>③土木学会CPD登録窓口</li> </ul>
<p>事務局スタッフ 福山 貴子 (ふくやま たかこ)</p> 	<p>今年度より、事務局のメンバーとなりました福山貴子です。2003年に鹿島建設に入社し、現在7年目です。微力ながらお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①役員会・総会関係(事務局会議日程調整・会場選定・役員名簿作成管理)</li> <li>②その他(資料管理)</li> </ul>

## 【事務局便り】郵便貯金口座を利用した「会費の自動引落システム」

土木技術者女性の会では、会費のお支払について、会員皆様の利便性の向上と会計・事務局の業務削減のため、ゆうちょ銀行総合口座の自動払込みシステムを利用した「会費の自動払込システム」を導入し、原則として全会員の皆様に利用をお願いしております。

一度、お申し込みいただくことで、その後の会費の払込みの手間が不要となります。手続きはとても簡単です。また、多くの会員の皆様に利用していただくことで、メリットが向上します。どうかご理解頂き、是非ご利用くださいませうようお願い申し上げます。

### 自動払込のメリット

1. 全国のゆうちょ銀行にお持ちの総合口座からの払込みが可能です。
2. 手数料が安くなります。(窓口 120 円、ATM80 円 → 自動払込 25 円に！)
3. 郵便局に振り込みで行く手間が省けるとともに、振り込み忘れを防げます。
4. 事務局の負担の軽減に貢献できます。

### 自動払込の仕組み

年会費の振替日は毎年 5 月末日です(振替日が休日のときは翌営業日となります。振替日の前日までにご指定の口座に必要額をご準備下さい)。

通帳には「土木技術者女性」と印字されます。

### 振替ができなかったとき

第二回振替日の 6 月 15 日に振替させていただきます(振替日が休日のときは翌営業日となります。振替日の前日までにご指定の口座に必要額をご準備下さい)。また、第一回、第二回ともに振替ができなかった場合は、後日、事務局よりお知らせいたしますので、同封する用紙を用い郵便局にて振り込んでいただきます。

### 申し込み方法

『自動払込利用申込書』に必要事項をご記入、捺印いただき、下記送付先までご郵送下さい。申込書はウェブサイト(<https://womencivilengineers.secure-ymc.jp/>)「会員のページ」よりダウンロードも出来ます。

### 『自動払込利用申込書』ご記入に際しての注意事項

1. 申込書の記載事項または捺印等に不備があると、ご提出いただきましても振替手続きが行えない場合がありますので、同封の記入例をご参照下さい。
2. 新規申込、ご指定口座等の変更連絡は、毎年 3 月末日(必着)までにお願ひ致します(締切日までにお申し出のない場合、次年度分会費は従来通り、郵送にて 4 月中旬に請求させていただきます)。
3. 自動引落しのご指定口座の変更連絡も、自動払込利用申込書にて事務局会費請求係宛にご郵送下さい。
4. 自動引落中止のご連絡は、必ず文書にて毎年 3 月末日(必着)までにお願ひ致します(以降着信分につきましては、返金等の手続きは出来ませんのでご了承願ひます)。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		末日 受付締切り ・新規申込み ・変更 ・中止	新 年 度	末日 会費振替	15日 第二回振替						
← 次年度分利用申込書受付 →			← 次々年度分利用申込書受付 →								

申込書送付先: 土木技術者女性の会 事務局会費請求係 佐藤亜紀子 行  
〒165-0026 東京都中野区新井3-14-8 内山工芸染色(株)内

### 退会時の手続き

退会届を受領次第、登録データを抹消致します。ただし、退会届受領日が、毎年3月末日(必着)以降の場合、次年度分会費の返金の手続きは出来ませんのでご了承願ひます。

### 個人情報の管理について

口座番号、名義等の個人情報は、事務局会費請求担当のみが取り扱うことを徹底し、情報の漏洩を防止致します。

### お問い合わせ先

ご不明な点は、事務局会費請求係までメールまたはファックスにてお問合せ下さい。

事務局会費請求係 佐藤 E-mail: [uchiyama-kougei@io.ocn.ne.jp](mailto:uchiyama-kougei@io.ocn.ne.jp) FAX: 03-3387-1519



## 自動払込利用申込書( 収 ・ 加 )

種目コード			契約種別 コード		通帳記号				通帳番号 (右詰め)							
1	6	6	3	3	1			0	の							
口座名義人	住所	〒														
	フリガナ												お届け印			
	預金者名															
払込日	5月末日 (再)6月15日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日)															
払込先 口座番号	00160-5-358129				払込先 加入者名	土木技術者女性の会										

住所	〒		
電話番号		会員番号	
会員名	(口座名義人と異なる場合のみご記入下さい)		

自動払込利用申込書の記載内容に不備がありましたら、  
該当箇所に を付けて、下記へ返送してください。

1. 口座番号相違
2. 氏名相違
3. 印鑑相違
4. 口座なし
5. その他( )

〒165-0026 東京都中野区新井3-14-8  
内山工芸染色(株)内  
土木技術者女性の会 会費請求係 佐藤亜紀子

受付局日附印

## 次期総会案内

関西地区世話役 三好 葉子

2010年の第29回総会は関西地区で行います。

2010年 6月25日(金) 午後 見学会  
夜 懇親会

6月26日(土) 午前 総会 です。

皆さま、どうぞご予約ください。

移動にあまり労を要しないようコンパクトな地域での開催を目指し（オリンピック誘致の文句みたい）、また、元気を出そうと頑張っている関西の底力を感じていただけるような内容にしたい、と、現在見学会等の企画について候補を絞り、検討を進めている段階です。

改めてのご案内を、どうぞお楽しみにお待ちしております。

総会は、国の重要文化財に指定されている大阪市中央公会堂を会場として行ないます。

大正期のネオ・ルネッサンス様式が高く評価されている施設で、共用部の廊下等には過去の設備等の展示もあります。こちらもどうぞお楽しみに。

元気いっぱいな関西地区メンバーが全国の皆さんのおいでをお待ちしております。

一人でも多くのご参加を、どうぞよろしくお願ひします！



総会会場の中央公会堂



2009.8.17 「なにわ探検クルーズ」にて

## 編集後記

今年から編集担当となりました。

原稿を書いていただいた方の顔写真を載せたいと思います。

1年に1回の総会と1年に2回の輪で顔を合わせれば、楽しいと思います。

初めての担当なので、ドキドキですが、皆様の楽しい企画とアイデアを募集しています。

「輪」への投稿・ご意見は編集担当 佐藤厚子 へ、  
その他のお問い合わせ、ご意見は、事務局まで、お願いします。  
e-mail;webmaster@womencivilengineers.com

## 【事務局】

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-12

お茶の水センタービル3F

中日本建設コンサルタント株式会社

東京支社東京事務所技術部

笹尾圭哉子

輪（りん）2009 年夏号（第48号）

2009 年9 月30日発行

土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers